

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																															
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()																															
	1 目	一般管理費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()																															
実施計画掲載ページ		P14	中 事 業	広聴事業関係費																																		
事業コード		001-002-001-00005	事 業 名	広聴事業																																		
目的及び事業内容		より良いまちづくりをめざし、市民からの意見・提案を市政に反映するため、市政提案・苦情等意見の受け付け、陳情・要望の受け付け、パブリックコメント、市政教室、まちづくり懇談会、市民意識調査の広聴事業を実施する。																																				
取 組 実 績		1 市政提案・・・64件 2 苦情等・・・121件 3 陳情・要望・・・59件 復興政策部4件、総務部17件、財務部1件、復興事業部1件、生活環境部1件、健康部3件、福祉部2件、産業部14件、建設部5件、教育委員会4件、河北総合支所3件、雄勝総合支所1件、河南総合支所1件、牡鹿総合支所1件、農業委員会1件 4 パブリックコメント・・・6件の計画に対する意見募集 (1) 男女共同参画基本計画(第4次)(案) (2) 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画(案) (3) 行財政改革推進プラン2025(案) (4) 空家等対策計画(案) (5) 第4次障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画(案) (6) 国土強靱化地域計画(案) 5 市政教室・・・新型コロナウイルス感染症拡大のため休止 6 まちづくり懇談会・・・3回実施 ※うち2回はコロナ拡大の影響により書面で回答 7 市民意識調査・・・調査期間 令和2年7月15日～8月5日 調査内容 (1) 復旧・復興事業 (2) SDGs (持続可能な開発目標) (3) 男女共同参画 (4) 市民公益活動団体 (5) 広報活動 (6) 障害者福祉 (7) 中心市街地活性化 (8) 観光 (9) 環境																																				
成 果		市民からの市政提案、苦情及び陳情・要望等については、市の窓口として取りまとめを行い、関係各課と情報共有を図り、市の考え方や対応方法を各担当課及び市長から市民へ伝えることにより、市民が市政をより身近なものと感じ、市政への関心を高めることができた。 パブリックコメントについては、市の計画に対する意見を募集した結果、計16件の貴重な意見・提言をいただき、各計画策定の参考とした。 市民意識調査では、9項目の調査回答を分析したことで、今後の市政運営の基礎資料とすることができた。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">パブリックコメント</th> <th colspan="4">まちづくり懇談会</th> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>意見件数</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> <td>(参考)出席人数</td> </tr> <tr> <td>6件</td> <td>16件</td> <td>8回</td> <td>3回</td> <td>37.50%</td> <td>8人</td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4">市民意識調査</th> </tr> <tr> <td>調査</td> <td>調査対象者</td> <td>回収数</td> <td>回収率</td> </tr> <tr> <td>9項目</td> <td>2,700人</td> <td>1,180件</td> <td>43.70%</td> </tr> </table>							パブリックコメント		まちづくり懇談会				計画	意見件数	目標値	実績	達成率	(参考)出席人数	6件	16件	8回	3回	37.50%	8人	市民意識調査				調査	調査対象者	回収数	回収率	9項目	2,700人	1,180件	43.70%
パブリックコメント		まちづくり懇談会																																				
計画	意見件数	目標値	実績	達成率	(参考)出席人数																																	
6件	16件	8回	3回	37.50%	8人																																	
市民意識調査																																						
調査	調査対象者	回収数	回収率																																			
9項目	2,700人	1,180件	43.70%																																			
成果に係る評価		本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により市政教室は休止、まちづくり懇談会についても積極的に開催することができなかったが、市長が各地区に出向き、市民から直接意見や要望を聴くことができるまちづくり懇談会については、実施方法を含め検討し、開催回数及び対象の拡大を図る必要がある。 広く市民の意見を聴くための広聴事業は、市民ニーズを把握し、市民の声を市政に反映させるため、市民と信頼関係を築きながら連携する上で重要なツールとなることから継続して実施する必要がある。																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
		1,579,000	1,574,808					1,574,808																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																									
	1 項	総務管理費		第 節		()																									
	1 目	一般管理費		()		()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	功労者表彰・礼遇者関係費																											
事業コード			事 業 名	市政功労者表彰事業																											
目的及び事業内容		<p>市の行政、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる善行があった個人・団体を表彰し、その功績を讃える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政功労表彰候補者の推薦依頼 ・推薦委員会及び審査委員会の開催 ・表彰式の開催 																													
取組実績		<p>1 市政功労表彰候補者の推薦依頼 市報・ホームページによる市民への周知及び各課への通知により、市政の発展に功績のある方の推薦を依頼し、109名・11団体の推薦があった。</p> <p>2 推薦委員会及び審査委員会の開催 市政功労表彰候補者として推薦された方々を、市民の方々に構成する推薦委員会及び部長等の市職員で構成する審査委員会で審査し、93名・11団体の市政功労者が決定された。</p> <p>3 表彰式の開催 (1) 市政功労者として決定された方々に表彰状及び記念品を授与するため、表彰式を開催した。 日 時：令和2年11月15日(日) 午後2時から 場 所：遊楽館 かなんホール 出席者数：個人39名・7団体 (2) 表彰式及び受賞者を、市報・地元新聞で周知した。</p>																													
成 果		<p>市政のために尽力した方々を表彰し、その功績を讃え、広く市民に知らせることにより、受賞者のさらなる活躍が期待できるとともに、市民の市政への参加意識の高揚に寄与することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度別取組実績</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政功労者推薦者数</td> <td>112名</td> <td>128名</td> <td>83名</td> <td>129名</td> <td>120名</td> </tr> <tr> <td>市政功労者決定者数</td> <td>90名(80.4%)</td> <td>102名(79.7%)</td> <td>74名(89.2%)</td> <td>110名(85.3%)</td> <td>104名(86.7%)</td> </tr> <tr> <td>表彰式出席者数</td> <td>52名(57.8%)</td> <td>60名(58.8%)</td> <td>39名(52.7%)</td> <td>60名(54.5%)</td> <td>46名(44.2%)</td> </tr> </tbody> </table>						年度別取組実績	H28	H29	H30	R1	R2	市政功労者推薦者数	112名	128名	83名	129名	120名	市政功労者決定者数	90名(80.4%)	102名(79.7%)	74名(89.2%)	110名(85.3%)	104名(86.7%)	表彰式出席者数	52名(57.8%)	60名(58.8%)	39名(52.7%)	60名(54.5%)	46名(44.2%)
年度別取組実績	H28	H29	H30	R1	R2																										
市政功労者推薦者数	112名	128名	83名	129名	120名																										
市政功労者決定者数	90名(80.4%)	102名(79.7%)	74名(89.2%)	110名(85.3%)	104名(86.7%)																										
表彰式出席者数	52名(57.8%)	60名(58.8%)	39名(52.7%)	60名(54.5%)	46名(44.2%)																										
成果に係る評価		<p>受賞者に対し、その功績を讃えることにより、市政の振興と市政への参加意識の高揚が期待できることから、今後も継続して実施する必要がある。 候補者の推薦にあたっては、受賞分野の固定化がみられることから、広く掘り起こしを図るため、引き続き市報やホームページでの周知や庁内各課への通知を実施する必要がある。</p>																													
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	280,000	271,561				271,561																									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																																																																
	1 項	総務管理費		第 節		()																																																																
	1 目	一般管理費		()		()																																																																
実施計画掲載ページ			中 事 業	情報公開推進費																																																																		
事業コード			事 業 名	情報公開・個人情報保護事業																																																																		
目的及び事業内容		<p>1 情報公開 市民の市政について知る権利を保障するとともに、情報の一層の公開を図る。</p> <p>2 個人情報保護 本市の保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める権利を明らかにするとともに、個人情報の適正な取扱いを確保する。</p> <p>3 審査会 開示決定等に対し審査請求があった場合は、第三者機関である審査会が公平な立場から調査審議し、開示請求者の権利救済を図るとともに、情報公開・個人情報保護制度の運用に関する重要事項について調査審議し、制度の充実・改善を図る。</p>																																																																				
取組実績		<p>1 開示請求の決定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開示請求件数</th> <th colspan="7">請求に対する決定等</th> </tr> <tr> <th>開示</th> <th>一部開示</th> <th>不開示</th> <th>不存在</th> <th>その他</th> <th>取下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報公開</td> <td>109件</td> <td>37件</td> <td>65件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>個人情報</td> <td>41件</td> <td>17件</td> <td>18件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 審査請求の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">審査請求件数</th> <th rowspan="2">取下</th> <th rowspan="2">諮問</th> <th rowspan="2">答申</th> <th colspan="4">審査請求に対する決定</th> <th rowspan="2">次年度繰越し</th> </tr> <tr> <th>認容</th> <th>一部認容</th> <th>棄却</th> <th>却下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 情報公開・個人情報保護審査会の開催状況 審査会の開催はなし。</p> <p>4 情報公開コーナーの利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">利用件数</th> <th colspan="3">利用件数の内訳</th> </tr> <tr> <th>行政資料等の閲覧</th> <th>（うち行政資料等の複写）</th> <th>その他相談等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>602件</td> <td>564件</td> <td>(258件)</td> <td>38件</td> </tr> </tbody> </table>						開示請求件数	請求に対する決定等							開示	一部開示	不開示	不存在	その他	取下	情報公開	109件	37件	65件	0件	4件	0件	3件	個人情報	41件	17件	18件	0件	5件	0件	1件	審査請求件数	取下	諮問	答申	審査請求に対する決定				次年度繰越し	認容	一部認容	棄却	却下	0件	利用件数	利用件数の内訳			行政資料等の閲覧	（うち行政資料等の複写）	その他相談等	602件	564件	(258件)	38件								
開示請求件数	請求に対する決定等																																																																					
	開示	一部開示	不開示	不存在	その他	取下																																																																
情報公開	109件	37件	65件	0件	4件	0件	3件																																																															
個人情報	41件	17件	18件	0件	5件	0件	1件																																																															
審査請求件数	取下	諮問	答申	審査請求に対する決定				次年度繰越し																																																														
				認容	一部認容	棄却	却下																																																															
0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件																																																														
利用件数	利用件数の内訳																																																																					
	行政資料等の閲覧	（うち行政資料等の複写）	その他相談等																																																																			
602件	564件	(258件)	38件																																																																			
成 果		<p>1 情報公開 公文書の開示については、迅速かつ適切に行うとともに、情報公開制度の適正な運営に努め、情報公開の推進に取り組むことができた。請求件数は、前年度と同程度の109件となっている。また、情報公開コーナーの利用件数は、前年度(802件)から200件減の602件となったが、行政資料等の複写や閲覧など、市民に対する情報提供を円滑に行うことができた。</p> <p>2 個人情報保護 個人の権利利益の侵害の防止を図り、個人の人格と尊厳の尊重に寄与した。自己情報を求める権利を保障するとともに、個人の権利利益を保護し、より適切な個人情報保護制度の運用を図ることができた。</p>																																																																				
成果に係る評価		<p>情報公開の推進については、公文書開示請求において、請求内容に応じ、保護される利益と公益上の必要性とを個別具体的に比較検討し、適正かつ迅速な情報公開事務に努めることができた。また、金入り設計書の電子データによる情報提供は、市民等の利便性の向上と職員の事務処理の軽減化が図られており、今後も、市民等からの請求に対し、より迅速に情報を開示することが望ましいことから、事務処理期間の短縮などの手法の研究や、積極的な情報提供の仕方を模索していく必要がある。 個人情報保護については、個人情報の定義の明確化及び要配慮個人情報の取扱いの規定により、実施機関において、より適切な個人情報の保護が図られており、引き続き、個人の権利利益が侵害されることのないよう、個人情報保護条例を遵守し、適正な管理に努めることが重要である。</p>																																																																				
(単位：円)																																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																
	2,669,000	2,195,847			208,280	1,987,567																																																																

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																			
	1 項	総務管理費		第2節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()																			
	2 目	文書広報費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()																			
実施計画掲載ページ		P14	中 事 業	広報活動費																						
事業コード		001-002-001-00004	事 業 名	「市報いしのまき」発行事業																						
目的及び事業内容		行政情報を広く市民に周知する手段として市報を作成し、市民の市政への関心を高め、市政に対する理解と協力を得るため毎月発行する。																								
取組実績		<p>毎月市報を発行し、市の施策や行政情報、各種お知らせ、催事、文化スポーツ行事、各種事業の募集、子育て支援情報、健診のお知らせなど多くの情報を掲載し、市民へ情報提供を行った。</p> <p>1 「市報いしのまき」発行事業</p> <p>(1) 発行：12回（毎月1日発行）</p> <p>(2) 部数：月63,000部</p> <p>(3) 紙面：全16ページ中12ページ（4ページは復興情報）</p> <p>(4) 主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の財政状況 ・市職員の人事行政運営のあらまし ・各種行政情報 ・施政方針 ・まちの話題 ・休日等救急当番医 ・子育て支援情報 ・各種健診 ・文化スポーツ行事 ・各種事業の募集 																								
成 果		<p>各種行政情報や市の主要な施策・取り組みなどについて、分かりやすく読みやすい紙面づくりに努め、市民へ情報提供が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標【広報紙閲読割合】</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>85.0%</td> <td>82.5%</td> <td>97.1%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>85.0%</td> <td>81.2%</td> <td>95.5%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>85.0%</td> <td>80.9%</td> <td>95.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績値は市民意識調査結果によるもの。市報に関する調査は隔年実施。</p>							区分	成果指標【広報紙閲読割合】		達成率	目標値	実績値	H28	85.0%	82.5%	97.1%	H30	85.0%	81.2%	95.5%	R2	85.0%	80.9%	95.2%
区分	成果指標【広報紙閲読割合】		達成率																							
	目標値	実績値																								
H28	85.0%	82.5%	97.1%																							
H30	85.0%	81.2%	95.5%																							
R2	85.0%	80.9%	95.2%																							
成果に係る評価		<p>市報の発行にあたっては、市民の目線に立った記事掲載に努め、市政に更に興味・関心を持ってもらえるような魅力ある内容の掲載と記事自体が読みやすく簡潔なものになるよう、随時見直しを図りながら、より良い広報紙に向け引き続き改善に取り組む。</p>																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	16,500,000	16,500,000	77,000		16,423,000																					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																			
	1 項	総務管理費		第 節			()																			
	6 目	企画費		()			()																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	がんばる石巻応援寄附関係費																						
事業コード			事 業 名	がんばる石巻応援寄附関係事業																						
目的及び事業内容		<p>自主財源を確保し、地域社会の発展につながる各種事業の実施を支えるため、「がんばる石巻応援寄附」の名称で、ふるさと納税事業を実施する。また、寄附への返礼品として石巻市の地場産品を送付することで、寄附者へ感謝の意を示すとともに、本市の魅力を伝え、市内事業者の販路拡大及び地域経済の活性化を図る。</p>																								
取組実績		<p>1 寄附受付</p> <p>(1) 申込方法：ポータルサイト99.8%、申込用紙0.2%</p> <p>※ ポータル内訳：ふるさとチョイス45.9%、楽天ふるさと納税47.2%、ANAのふるさと納税6.7%</p> <p>(2) 納付方法：クレジット93.9%、その他6.1%</p> <p>2 返礼品登録</p> <p>(1) 「特産品選定評価委員会」にて新規返礼品登録審査を行った。</p> <p>第1回：令和2年6月11日（17品追加） 第2回：令和2年10月8日（28品追加）</p> <p>第3回：令和3年2月3日（19品追加）</p> <p>(2) 令和2年度末時点の返礼品は、寄附額5,000円から500,000円まで、196品。</p> <p>※ 返礼品は事業者都合等により随時内容変更、受付停止する。</p> <p>3 災害支援寄附・クラウドファンディングの受付</p> <p>(1) 令和3年福島県沖地震災害支援寄附受付（返礼品なし）</p> <p>ア 受付期間 令和3年2月17日～令和3年3月31日</p> <p>イ 実 績 寄附件数：288件 寄附金額：1,382,000円</p> <p>(2) 震災遺構（旧門脇小学校、旧大川小学校）の保存・運営のためのクラウドファンディング</p> <p>ア 受付期間 令和3年3月5日～令和3年3月31日</p> <p>イ 実 績 寄附件数：228件 寄附金額：2,353,000円</p> <p>4 広報</p> <p>(1) 雑誌のふるさと納税特集への記事掲載 9回</p> <p>(2) メールマガジンの配信 9回</p> <p>(3) ポータルサイトの特集への掲載 7回</p>																								
成 果		<p>1 寄附受入実績</p> <p>全国の寄附者から多くの寄附を頂き、令和2年度は、寄附件数、金額ともに過去最高となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附件数</td> <td>11,830件</td> <td>17,731件</td> <td>15,589件</td> <td>25,932件</td> <td>27,192件</td> </tr> <tr> <td>寄附金額</td> <td>186,352,202円</td> <td>241,483,225円</td> <td>253,931,245円</td> <td>354,718,283円</td> <td>357,365,754円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 寄附充当事業</p> <p>「がんばる石巻応援寄附」は、一度基金として積み立てた後、各種事業に充当している。令和2年度実施事業は、平成30年10月から令和元年9月までにいただいた寄附金294,242,000円を活用している。</p> <p>※ 内訳：市民協働の推進、教育の充実、産業振興、保健福祉の充実、環境保全や文化の振興、道路・住宅・公共交通の整備</p>								H28	H29	H30	R1	R2※	寄附件数	11,830件	17,731件	15,589件	25,932件	27,192件	寄附金額	186,352,202円	241,483,225円	253,931,245円	354,718,283円	357,365,754円
	H28	H29	H30	R1	R2※																					
寄附件数	11,830件	17,731件	15,589件	25,932件	27,192件																					
寄附金額	186,352,202円	241,483,225円	253,931,245円	354,718,283円	357,365,754円																					
成果に係る評価		<p>新型コロナウイルス感染症の流行により令和元年度までのようなPRイベントへは参加できなかったものの、多くの新規返礼品を登録するとともに広報に力を入れたことで、感染症流行を受けての巣ごもり需要に対し、効果的に発信することができた。</p> <p>また、頂いた寄附を財源として各種事業を実施できたことから、今後も本市の発展のため、継続して「がんばる石巻応援寄附」を受け付けていく必要がある。</p> <p>次年度は、事業者からの新規返礼品登録希望に対し、より迅速に対応できるよう体制を整える。更に、主要な4つのポータルサイト全てへ返礼品を掲載するとともに、積極的な広報等を実施し、多くの寄附者に関心を持っていただけるよう努めていく必要がある。</p>																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	206,854,000	204,193,672				204,193,672																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																									
	1 項	総務管理費		第 節			()																									
	6 目	企画費		()			()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	SDGs推進関係費																												
事業コード			事 業 名	SDGs推進事業〔地方創生〕																												
目的及び事業内容		<p>経済・社会・環境の三側面を統合的に取り組み、地方創生の実現に資する持続可能なまちづくりを目指すというSDGsの考えを原動力として、将来にわたって活力ある地域社会の実現を目指す。</p> <p>1 SDGs普及啓発事業 2 グリーンスローモビリティ活用事業</p>																														
取組実績		<p>石巻市SDGs未来都市計画に基づき、SDGs達成に資する先進的、かつ、経済、社会、環境の三側面をつなぐ統合的な取組やSDGsの普及啓発を実施した。</p> <p>1 SDGs普及啓発事業 (1) 職員研修の実施…補佐級以上の職員を対象に8回開催（令和4年度までに全職員受講予定） (2) SDGsシンポジウムの開催…3/22にオンラインで開催し、YouTubeにより約1,200回を超える視聴回数 (3) マンガ冊子…（株）講談社と連携し「マンガでわかる石巻・SDGsを学ぶ本」を作成・配付 (4) アニメ動画…（株）講談社と連携し15秒及び1分間アニメ動画（7本）を作成・公開 (5) SDGsバッジ…行政事務職員分を購入・配付 (6) 普及啓発ポスター…（株）街づくりまんぼうと連携し、シージェッター海斗のコラボポスターを作成・配付・掲示</p> <p>2 グリーンスローモビリティ活用事業 (1) グリーンスローモビリティ…電動カート1台を購入・運用 (2) 太陽光非接触充電ステーション…電動カート用の充電ステーション1基を設置 (3) コミュニケーションロボットATOM…組立キット等100台分を購入し、高齢者世帯に配置 (4) ハイブリッドリユース…技術指導研修会を開催</p>																														
成 果		<p>1 SDGs普及啓発事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員研修</td> <td>8回開催、約320名が受講し、SDGsの基礎を学んだ。</td> </tr> <tr> <td>SDGsシンポジウム</td> <td>YouTube配信により、未来都市いしのまきへの関心を高めた。</td> </tr> <tr> <td>マンガ冊子</td> <td>全戸配布、市内の全小・中・高等学校の児童生徒へ配付し、普及啓発を図った。</td> </tr> <tr> <td>アニメ動画</td> <td>市HPの他、包括連携協定を締結している市内金融機関のサイネージを活用して動画配信し、周知を図った。</td> </tr> <tr> <td>SDGsバッジ</td> <td>行政事務職員に配付し、意識啓発を図った。</td> </tr> <tr> <td>普及啓発ポスター</td> <td>庁舎内のほか、市内公共施設等に掲示し、市民等に広く周知を図った。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 グリーンスローモビリティ活用事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グリーンスローモビリティ電動カート購入</td> <td>新蛇田地区で運用開始し、高齢者の外出機会の一助となった。</td> </tr> <tr> <td>太陽光非接触充電ステーション設置</td> <td>新蛇田地区に設置し、電動カートへの100%自然エネルギー活用を図った。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーションロボットATOM購入</td> <td>学生が組み立てたコミュニケーションロボットを、高齢者宅へ配置し、外出機会の創出とコミュニティの活性化を図った。</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッドリユース技術指導</td> <td>地元自動車整備工場4社が参加し、専門的な技術、知識を学んだ。</td> </tr> </tbody> </table>							区分	R2実績	職員研修	8回開催、約320名が受講し、SDGsの基礎を学んだ。	SDGsシンポジウム	YouTube配信により、未来都市いしのまきへの関心を高めた。	マンガ冊子	全戸配布、市内の全小・中・高等学校の児童生徒へ配付し、普及啓発を図った。	アニメ動画	市HPの他、包括連携協定を締結している市内金融機関のサイネージを活用して動画配信し、周知を図った。	SDGsバッジ	行政事務職員に配付し、意識啓発を図った。	普及啓発ポスター	庁舎内のほか、市内公共施設等に掲示し、市民等に広く周知を図った。	区分	R2実績	グリーンスローモビリティ電動カート購入	新蛇田地区で運用開始し、高齢者の外出機会の一助となった。	太陽光非接触充電ステーション設置	新蛇田地区に設置し、電動カートへの100%自然エネルギー活用を図った。	コミュニケーションロボットATOM購入	学生が組み立てたコミュニケーションロボットを、高齢者宅へ配置し、外出機会の創出とコミュニティの活性化を図った。	ハイブリッドリユース技術指導	地元自動車整備工場4社が参加し、専門的な技術、知識を学んだ。
区分	R2実績																															
職員研修	8回開催、約320名が受講し、SDGsの基礎を学んだ。																															
SDGsシンポジウム	YouTube配信により、未来都市いしのまきへの関心を高めた。																															
マンガ冊子	全戸配布、市内の全小・中・高等学校の児童生徒へ配付し、普及啓発を図った。																															
アニメ動画	市HPの他、包括連携協定を締結している市内金融機関のサイネージを活用して動画配信し、周知を図った。																															
SDGsバッジ	行政事務職員に配付し、意識啓発を図った。																															
普及啓発ポスター	庁舎内のほか、市内公共施設等に掲示し、市民等に広く周知を図った。																															
区分	R2実績																															
グリーンスローモビリティ電動カート購入	新蛇田地区で運用開始し、高齢者の外出機会の一助となった。																															
太陽光非接触充電ステーション設置	新蛇田地区に設置し、電動カートへの100%自然エネルギー活用を図った。																															
コミュニケーションロボットATOM購入	学生が組み立てたコミュニケーションロボットを、高齢者宅へ配置し、外出機会の創出とコミュニティの活性化を図った。																															
ハイブリッドリユース技術指導	地元自動車整備工場4社が参加し、専門的な技術、知識を学んだ。																															
成果に係る評価		<p>SDGsの認知度向上を図るため、市報やホームページの他、マンガ冊子やアニメ動画等を活用し、積極的に普及啓発を図ったことで、令和2年度の市民意識調査によるSDGs認知度が26.5%となり、前年比7.4ポイント増加し、市民のSDGsへの関心を高めることができた。</p> <p>また、グリーンスローモビリティ活用事業においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により電動カート及び太陽光非接触充電ステーションの製造に遅延が生じた結果、計画した数量の導入はできなかったものの、（一社）日本カーシェアリング協会及び地域のカーシェア会の協力の下、令和3年3月に運行開始セレモニーを実施することができた。</p>																														
（単位：円）																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																										
	53,424,000	48,292,781	33,615,896			14,676,885																										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 4 節	安定した行政運営を構築する		()	
	6 目	企画費		(1)	持続可能な行政運営を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P18	中 事 業	ICT関連事業推進費				
事業コード		001-004-001-01415	事 業 名	ICT活用推進事業				
目的及び事業内容		<p>庁内業務の肥大化と住民ニーズ多様化への対応、復興期間終了に伴う職員の大幅な減により、住民サービスの低下等が懸念される状況であり、職場環境の改善が必要である。</p> <p>このことから、ICT活用を積極的に行い庁内業務の効率化と職場環境の改善を推進するため、AI技術やRPA等のICT利活用を積極的に業務に取り入れ、業務効率の向上と職場環境の改善を図り行政サービスの更なる向上に繋げる。</p>						
取組実績		<p>手書き文字をデータ化するためにAI-OCR（人工知能を付加した光学的文字認識技術）とRPAと組み合わせることで、手書き申請書類等の文字情報を読み取り、業務システム等に入力し、デジタルデータとして保存していく。</p> <p>○AI-OCRの作業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請書記載情報をスキャナ等でデジタル化（PDF） AI-OCRによるPDFデータの読み取り・確認 <p>○RPAの作業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> RPAシナリオ作成 RPAによる業務システムへの入力 <p>【実証期間】 令和2年5月～令和3年1月</p> <p>【実証対象業務】 (1) AI-OCR：国保税還付処理など13業務で実施 (2) RPA：国保税還付情報登録業務など15業務で実施</p>						
成 果		<p>実証運用の実施により、RPA導入により業務効率化が期待できる業務とRPA導入による効果が期待できない業務、運用の見直しにより業務改善が図れる可能性がある業務などがあり、各業務において業務改善の取組に繋がると思われる。</p> <p>○今後実運用を予定している業務 ……ふるさと納税受付入力業務など4業務</p> <p>○一部の判断等が介在するため、RPAの活用が難しい業務 ……保育所申込受付業務など5業務</p> <p>○運用の見直し等で業務効率向上が期待される業務 ……放課後児童クラブ申込受付業務など5業務</p> <p>○導入効果が見込まれるため来年度実証を行う予定の業務 ……アンケート集計業務など3業務</p>						
成果に係る評価		<p>実証運用により、RPA、AIといったICT技術の導入による業務改善だけではなく、各業務毎に課題となる部分が把握できたことで、今後の業務改善に期待できる取組であったと思える。</p> <p>また、職員によるRPAシナリオの作成は、日常業務で頻繁に使用することが無いため、スキル習得は極めて難しい状態であり、RPAシナリオの作成、維持は業者委託の必要性が高い。</p> <p>ICT技術の導入には、業務担当職員の理解と協力が絶対条件であり、職員一人ひとりの業務効率向上に対する意識改革が重要となる。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,483,000	2,482,808				2,482,808		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																											
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()																																											
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()																																											
実施計画掲載ページ		P133	中 事 業	市民協働推進費																																														
事業コード		006-001-001-00023	事 業 名	地域づくり基金助成事業																																														
目的及び事業内容		市民の連携強化及び均衡ある地域振興に資するため、行政との協働のまちづくりにより実施する事業や地域コミュニティ活性化を図る事業に対し、限度額30万円を助成するもの。																																																
取 組 実 績		14団体より申請があり、一次審査及び公開プレゼンテーションによる審査の結果、13団体に助成金を交付した。 1 新規助成団体数 6団体 (本庁6件) 2 継続助成団体数 7団体 (本庁6件、河南1件) 計 助成団体数 13団体 (本庁12件、河南1件)																																																
成 果		事業の実施により、住民同士の交流が生まれ、地域コミュニティの活性化が図られたほか、震災の追悼や伝承、地域の自然環境を守る活動等により、市民の連携の強化及び均衡ある地域振興が図られた。 助成金交付団体等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>団体の名称</th> <th>事業の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>石巻劇場芸術協会</td> <td>石巻劇場芸術文化振興事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>石巻震災伝承の会</td> <td>被災体験からつむぐ 防災学習プログラム策定事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>すばらしい北北上連河沿線の自然環境を守る協議会</td> <td>すばらしい北北上連河沿線の自然環境美化活動</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>石巻市田代島獅子舞保存会</td> <td>「田代島獅子舞」伝承事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>特定非営利活動法人こころの森</td> <td>「石巻南浜復興祈念公園内への復興の花畑づくり」交流事業</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>一般社団法人ふぁみりあ</td> <td>運動遊び訪問教室・親子教室</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>一般社団法人フードバンクいしのまき</td> <td>食品ロス削減の啓発と福祉的活用 「もったいない、をありがとうに！」</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ</td> <td>うめばたけ こども図書室</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>桃浦緑化推進会</td> <td>浜に彩りを</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>がんばろう！石巻の会</td> <td>東日本大震災追悼3.11のつどい</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>一般社団法人ISHINOMAKI2.0</td> <td>石巻まちの本棚いしのまき本の教室 「小さな出版社と考える地域の出版と文化」</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>エイサー石巻</td> <td>異文化伝統芸能(沖縄エイサー)による地域活性化事業</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>河南鹿嶋ばやし保存会</td> <td>河南鹿嶋ばやし伝承事業</td> </tr> </tbody> </table>							No.	団体の名称	事業の名称	1	石巻劇場芸術協会	石巻劇場芸術文化振興事業	2	石巻震災伝承の会	被災体験からつむぐ 防災学習プログラム策定事業	3	すばらしい北北上連河沿線の自然環境を守る協議会	すばらしい北北上連河沿線の自然環境美化活動	4	石巻市田代島獅子舞保存会	「田代島獅子舞」伝承事業	5	特定非営利活動法人こころの森	「石巻南浜復興祈念公園内への復興の花畑づくり」交流事業	6	一般社団法人ふぁみりあ	運動遊び訪問教室・親子教室	7	一般社団法人フードバンクいしのまき	食品ロス削減の啓発と福祉的活用 「もったいない、をありがとうに！」	8	特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ	うめばたけ こども図書室	9	桃浦緑化推進会	浜に彩りを	10	がんばろう！石巻の会	東日本大震災追悼3.11のつどい	11	一般社団法人ISHINOMAKI2.0	石巻まちの本棚いしのまき本の教室 「小さな出版社と考える地域の出版と文化」	12	エイサー石巻	異文化伝統芸能(沖縄エイサー)による地域活性化事業	13	河南鹿嶋ばやし保存会	河南鹿嶋ばやし伝承事業
No.	団体の名称	事業の名称																																																
1	石巻劇場芸術協会	石巻劇場芸術文化振興事業																																																
2	石巻震災伝承の会	被災体験からつむぐ 防災学習プログラム策定事業																																																
3	すばらしい北北上連河沿線の自然環境を守る協議会	すばらしい北北上連河沿線の自然環境美化活動																																																
4	石巻市田代島獅子舞保存会	「田代島獅子舞」伝承事業																																																
5	特定非営利活動法人こころの森	「石巻南浜復興祈念公園内への復興の花畑づくり」交流事業																																																
6	一般社団法人ふぁみりあ	運動遊び訪問教室・親子教室																																																
7	一般社団法人フードバンクいしのまき	食品ロス削減の啓発と福祉的活用 「もったいない、をありがとうに！」																																																
8	特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ	うめばたけ こども図書室																																																
9	桃浦緑化推進会	浜に彩りを																																																
10	がんばろう！石巻の会	東日本大震災追悼3.11のつどい																																																
11	一般社団法人ISHINOMAKI2.0	石巻まちの本棚いしのまき本の教室 「小さな出版社と考える地域の出版と文化」																																																
12	エイサー石巻	異文化伝統芸能(沖縄エイサー)による地域活性化事業																																																
13	河南鹿嶋ばやし保存会	河南鹿嶋ばやし伝承事業																																																
成果に係る評価		伝統芸能や震災伝承、環境等多様な分野で地域コミュニティの活性化や地域振興が図られている。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小しての審査会開催となったが、後日ホームページで審査会の内容を動画で公開し、各団体の活動を市民に広く周知した。 令和2年度から「こどもの学習活動等を通じた青少年の健全な育成事業」など対象事業を拡充し、より多くの団体が申請できるように制度の見直しを行ったが、目標の申請件数を下回っていることから、更なる広報活動の強化を行う必要がある。																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	3,095,000	2,549,000			2,549,000																																													

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																																				
	1 項	総務管理費		第 1 節	住民の自治力を強化する		()																																				
	7 目	地域振興費		(2)	公益的な市民活動を支援する		()																																				
実施計画掲載ページ		P14	中 事 業	市民協働推進費																																							
事業コード		001-001-002-00675	事 業 名	集会所建設費補助事業																																							
目的及び事業内容		町内会等が行う地域住民のための集会所の建設等整備事業に対して補助金を交付することにより、住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図り、もって地域社会の健全な発展に資するため、集会所の新築事業及び増築、改築、改装、修繕事業等に対し補助するもの。																																									
取 組 実 績		集会所の新築及び改修に対して石巻市集会所建設費等補助金を交付した。 1 新築3件 (1) 水沼西部生活センター (2) 小竹浜集会所 (R1から繰越) (3) 檜崎西下部落会館 2 修繕2件 (1) 井内東部ふれあい会館 (屋根、雨樋修繕) (2) 五十五人公民館 (屋根葺き替え、天井修繕)																																									
成 果		地域の交流拠点となる地区集会所の新築及び改修に対して補助金を交付し支援をすることにより、地域コミュニティ活動の促進と地域の連帯感を醸成する環境整備が図られた。 石巻市集会所建設費等補助金 <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>対象事業費</th> <th>補助金額</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水沼西部生活センター</td> <td>新築</td> <td>20,486,075円</td> <td>9,039,000円</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td>小竹浜集会所</td> <td>新築</td> <td>20,580,000円</td> <td>12,348,000円</td> <td>完成払</td> </tr> <tr> <td>檜崎西下部落会館</td> <td>新築</td> <td>21,862,000円</td> <td>21,862,000円</td> <td>上限額</td> </tr> <tr> <td>井内東部ふれあい会館</td> <td>修繕</td> <td>3,150,000円</td> <td>1,520,000円</td> <td>上限額</td> </tr> <tr> <td>五十五人公民館</td> <td>修繕</td> <td>1,315,644円</td> <td>877,000円</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>67,393,719円</td> <td>45,646,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							集会所名	事業区分	対象事業費	補助金額	割合	水沼西部生活センター	新築	20,486,075円	9,039,000円	2/3以内	小竹浜集会所	新築	20,580,000円	12,348,000円	完成払	檜崎西下部落会館	新築	21,862,000円	21,862,000円	上限額	井内東部ふれあい会館	修繕	3,150,000円	1,520,000円	上限額	五十五人公民館	修繕	1,315,644円	877,000円	2/3以内	計		67,393,719円	45,646,000円	
集会所名	事業区分	対象事業費	補助金額	割合																																							
水沼西部生活センター	新築	20,486,075円	9,039,000円	2/3以内																																							
小竹浜集会所	新築	20,580,000円	12,348,000円	完成払																																							
檜崎西下部落会館	新築	21,862,000円	21,862,000円	上限額																																							
井内東部ふれあい会館	修繕	3,150,000円	1,520,000円	上限額																																							
五十五人公民館	修繕	1,315,644円	877,000円	2/3以内																																							
計		67,393,719円	45,646,000円																																								
成果に係る評価		地域集会所は、市民と協働のまちづくりを推進する上で重要な施設であることから、老朽化による改築や修繕、集会所のない自治会による新築に対して、今後も補助金の交付を継続する必要がある。																																									
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	45,646,000	45,646,000			32,559,000	13,087,000																																					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																									
	1 項	総務管理費		第 節			()																									
	7 目	地域振興費		()			()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	市民協働推進費																												
事業コード			事 業 名	NPO支援推進事業																												
目的及び事業内容		市民公益活動団体の活動支援の拠点として「石巻市NPO支援オフィス」を設置し、市民公益活動団体、市民、企業及び市の連携・交流の場を提供することにより、NPOの育成・支援を図る。																														
目的及び事業内容		1 NPO支援オフィスの施設管理業務	5 協働推進コーディネート事業																													
目的及び事業内容		2 情報収集提供事業																														
目的及び事業内容		3 研修・カウンセリング事業																														
目的及び事業内容		4 登録団体実態調査事業																														
取組実績		NPO支援を目的として活動している特定非営利活動法人いしのまきNPOセンターを、石巻市NPO支援オフィスの指定管理者とし、利用者の様々なニーズに対応した。																														
取組実績		1 施設管理業務 (1) 会議室・ロッカー・メールボックスの貸し出し (2) 機器利用サービス（コピー機・簡易印刷機・パソコン等の貸し出し）																														
取組実績		2 情報収集提供業務 (1) 市民公益活動情報の収集・提供及び図書資料の管理・貸出 (2) 情報掲示板・団体情報棚・オフィスホームページの管理 (3) 機関紙、メールマガジン及びメーリングリストでの情報発信 (4) 石巻かほく、石巻日新聞、ラジオ石巻、市報いしのまきでの情報発信																														
取組実績		3 研修・カウンセリング事業 (1) 情報発信ツール・ためまっぐ講座、ファンドレイジング講座の実施 (2) 登録団体交流会・相談会等相談対応業務																														
取組実績		4 登録団体実態調査事業 (1) 登録団体実態調査及びヒアリング																														
取組実績		5 協働推進コーディネート事業 (1) 市広聴事業「まちづくり懇談会」施策提案団体へのカウンセリング (2) 勉強会・懇談会等の開催支援 (3) 団体設立支援業務																														
成 果		・NPO支援オフィス利用状況 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>来館者数</th> <th>会議室 利用数</th> <th>相談件数</th> <th>図 書 閲覧者数</th> <th>パソコン 利用者数</th> <th>機 器 利用者数</th> <th>広報等 依頼数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1実績</td> <td>2,468人</td> <td>202件</td> <td>607件</td> <td>1人</td> <td>8人</td> <td>322件</td> <td>188件</td> </tr> <tr> <td>R2実績</td> <td>1,362人</td> <td>97件</td> <td>672件</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>154件</td> <td>169件</td> </tr> </tbody> </table> ・石巻市市民公益活動団体……登録数 176団体（前年比3団体増）							区分	来館者数	会議室 利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン 利用者数	機 器 利用者数	広報等 依頼数	R1実績	2,468人	202件	607件	1人	8人	322件	188件	R2実績	1,362人	97件	672件	0人	1人	154件	169件
区分	来館者数	会議室 利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン 利用者数	機 器 利用者数	広報等 依頼数																									
R1実績	2,468人	202件	607件	1人	8人	322件	188件																									
R2実績	1,362人	97件	672件	0人	1人	154件	169件																									
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館措置等の影響もあり、来館者数や会議室利用数等が減少したが、資金繰りに苦慮した団体からの問い合わせ件数の増加や、オンラインでの相談業務にいち早く対応したことから、相談件数については昨年度より増加した。このことから、コロナ禍という中であっても、状況に適した形態で役割を果たせたものと考えている。 令和3年2月に発生した福島県沖地震により指定管理施設の一部が損壊したため、石巻市総合体育館内への臨時移転となっていることから、NPO支援オフィスの移転先の検討が必要である。																														
予算の執行状況		(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	10,460,000	10,460,000			9,500,000	960,000																										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																																																																														
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()																																																																														
	7 目	地域振興費		(2)	市民参加を促進する		()																																																																														
実施計画掲載ページ			P15	中 事 業	地域振興関係費																																																																																
事業コード		001-002-002-00016	事 業 名	地域まちづくり委員会事業																																																																																	
目的及び事業内容		地域まちづくり委員会は、平成17年4月の合併に伴う市民意識調査の中で、地域の声が届かないという意見があったことから、均衡ある発展及び活性化を図るため、旧町単位で設置したものである。事業内容としては、各総合支所との連携を取りながら、市民と行政が一体となって、各地域のまちづくり施策や活性化に向けた取組を行う。																																																																																			
取組実績		・まちづくり委員会開催実績 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">委員数</th> <th colspan="2">第1回</th> <th colspan="2">第2回</th> <th colspan="2">第3回</th> <th colspan="2">第4回</th> </tr> <tr> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区</td> <td>14人</td> <td>6/12</td> <td>13名</td> <td>10/20</td> <td>11名</td> <td>11/25</td> <td>13名</td> <td>3/25</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>14人</td> <td>8/20</td> <td>11名</td> <td>10/26</td> <td>12名</td> <td>3/25</td> <td>1名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>18人</td> <td>10/20</td> <td>17名</td> <td>11/25</td> <td>14名</td> <td>3/25</td> <td>1名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>10人</td> <td>10/21</td> <td>10名</td> <td>11/25</td> <td>10名</td> <td>3/25</td> <td>1名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>20人</td> <td>9/29</td> <td>13名</td> <td>11/27</td> <td>10名</td> <td>3/25</td> <td>1名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>11人</td> <td>10/22</td> <td>9名</td> <td>11/25</td> <td>6名</td> <td>3/25</td> <td>1名</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※3/25開催分は、各地区合同による市長への答申							委員数	第1回		第2回		第3回		第4回		開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数	河北地区	14人	6/12	13名	10/20	11名	11/25	13名	3/25	1名	雄勝地区	14人	8/20	11名	10/26	12名	3/25	1名			河南地区	18人	10/20	17名	11/25	14名	3/25	1名			桃生地区	10人	10/21	10名	11/25	10名	3/25	1名			北上地区	20人	9/29	13名	11/27	10名	3/25	1名			牡鹿地区	11人	10/22	9名	11/25	6名	3/25	1名		
	委員数	第1回		第2回		第3回				第4回																																																																											
		開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数																																																																												
河北地区	14人	6/12	13名	10/20	11名	11/25	13名	3/25	1名																																																																												
雄勝地区	14人	8/20	11名	10/26	12名	3/25	1名																																																																														
河南地区	18人	10/20	17名	11/25	14名	3/25	1名																																																																														
桃生地区	10人	10/21	10名	11/25	10名	3/25	1名																																																																														
北上地区	20人	9/29	13名	11/27	10名	3/25	1名																																																																														
牡鹿地区	11人	10/22	9名	11/25	6名	3/25	1名																																																																														
成 果		1 河北地区 災害に強いまちづくりや主要幹線市道等の整備等についての要望書の協議、河北地区における各種事業の進捗状況についての確認及び情報共有、第2次石巻市総合計画（基本計画エリア別将来展望）についての意見交換を行った。 2 雄勝地区 雄勝地区中心部拠点エリア整備事業の進捗状況や雄勝ガーデンパーク構想、「道の駅」登録申請、第2次石巻市総合計画についての情報共有及び意見交換を行った。 3 河南地区 第2次石巻市総合計画について、ワークショップによる意見交換及び素案の内容確認を行った。 4 桃生地区 第2次石巻市総合計画についての意見交換を行った。 5 北上地区 北上地区における地域自治システムについての協議や第2次石巻市総合計画についての意見交換を行った。 6 牡鹿地区 第2次石巻市総合計画について、ワークショップによる意見交換等を行った。																																																																																			
成果に係る評価		令和2年度は各地域の発展に向けた協議のほか、第2次石巻市総合計画についての意見交換及び市長への答申を行った。新しい総合計画を策定するにあたり、各地域の課題解決や発展に向けた意見を取り入れることができた。 また、令和3年度は委員改選期となるため、男女共同参画の観点から、引き続き女性委員の積極的な登用に向けた運営体制づくりを行うほか、地域の特色を活かした振興策や様々な課題解決に向けた取組を行っていく必要がある。																																																																																			
予算の執行状況		(単位：円)																																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																															
	2,004,400	1,565,517			1,300,000	265,517																																																																															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	7 目	地域振興費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 35、P 36		中 事 業	国内姉妹都市・友好都市交流推進費			
事業コード		002-003-001-00019、00020、01194		事 業 名	国内姉妹都市・友好都市交流推進事業			
目的及び事業内容								
<p>各市町との友好協力関係を深めるとともに市町民間の相互理解を促進するため、産業・文化・歴史などそれぞれの特性を活かした交流事業を実施し、地域の活性化を図る。</p>								
取組実績								
<p>【山形県河北町との交流事業】</p> <p>1 緊急支援さくらんぼプレゼント事業（受入れ）</p> <p>(1) 配布日程：令和2年6月23～25日</p> <p>(2) 配布先：本市全保育施設（幼稚園・こども園含む）利用児及び全小・中学生（計12,810人）</p> <p>(3) 経 緯：新型コロナウイルス感染症の影響を受けているさくらんぼ農家を支援することを目的とし、山形県河北町が本市との交流事業として実施</p> <p>2 石巻市特産品プレゼント事業</p> <p>(1) 配布日程：令和2年9月25日</p> <p>(2) 配布先：山形県河北町全保育施設利用児及び全小・中学生（2,500人分を配布）</p> <p>(3) 経 緯：山形県河北町のさくらんぼプレゼント事業の御礼及び豪雨災害に対するお見舞いとして実施</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施しているさくらんぼ狩りツアー（訪問）及びいしのまき大漁まつりツアー（受入れ）等は中止とした。</p> <p>【茨城県ひたちなか市との交流事業】</p> <p>市民交流訪問事業 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>【山口県萩市との交流事業】</p> <p>萩市・石巻市友好都市締結4周年記念事業 萩市物産展</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>								
成 果								
<p>令和2年度は、コロナ禍により見学ツアー等を中止としたが、山形県河北町との間で実施したプレゼント事業により、多くの両市町民に友好都市について周知することができ相互理解が促進された。</p>								
成果に係る評価								
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業を中止せざるを得ない中、山形県河北町とのプレゼント事業の実施により、友好協力関係の必要性が再認識されたことから、今後においても、各市町の地域活性化及び友好協力関係を深めるため、交流事業を継続させる必要がある。</p>								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	701,000		700,330					700,330

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()	
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()	
実施計画掲載ページ		P 133		中 事 業	地域交流・定着支援等事業費			
事業コード		006-001-001-01090		事 業 名	移住対策事業〔地方創生〕			
目的及び事業内容								
<p>移住希望者への情報提供や相談対応のほか、本市の魅力を発信するPR活動、実際の移住者や市内の起業家を通して人材育成活動を行い、これらの事業を都市部に発信することで移住の促進を図る。また、全国10の自治体で構成されるローカルベンチャー協議会の参加自治体として、各参加自治体や協議会の事務局であるNPO法人ETICと連携し、首都圏の起業家志望者の獲得や起業支援を行うことで、新たな事業の担い手の定着・定着を図る。</p>								
取組実績								
<p>1 スマートな地域資源活用創造（プロデュース）事業委託業務 期間：R2.4.1～R3.3.31</p> <p>(1) 移住コンシェルジュ設置（コンシェルジュ2名体制、移住相談件数41件、移住者10名）</p> <p>ア 移住相談窓口の設置（情報の提供、相談対応）</p> <p>イ 移住相談イベントへの参加</p> <p>ウ ユーチューブを活用した本市のPR動画配信</p> <p>(2) 石巻チャレンジワーキング</p> <p>ア 本市在住の起業家を講師として招いた研修会（オンライン開催） 開催回数：5回、参加者数：70名</p> <p>(3) 野生のスズメ（旧石巻版松下村塾）</p> <p>ア 起業型人材育成講座（オンライン開催） 開催回数：5回、参加者数：18名</p> <p>(4) 地域交流・定着支援事業</p> <p>ア 本市に移住した者、地域住民等との交流会 開催回数：5回、参加者数：193名</p> <p>(5) 空き家の活用事業</p> <p>ア オモシロ不動産大作戦</p> <p>・空き家活用によるリモートワークを促進するための知見を得るトークセッション等の動画配信 実施回数：6回</p> <p>2 地域活躍支援推進事業委託業務 期間：R2.4.1～R3.3.31</p> <p>(1) 移住・定住総合情報発信</p> <p>ア 起業志望者向けホームページ・求人情報サイトの運営、イベント参加等</p> <p>(2) 総合調整管理業務（コンソーシアム「ハグクミ」の各事業の調整等）</p> <p>(3) ローカルベンチャーリサーチ及びローカルベンチャー白書（冊子）の発行</p> <p>(4) 5年間の事業実績をまとめた冊子の発行</p> <p>3 ローカルベンチャー協議会ローカル事務局委託業務 期間：R2.4.1～R3.3.31</p> <p>・協議会名：ローカルベンチャー協議会（H28.9.7設立）</p> <p>・参加自治体数：10自治体</p> <p>(1) メディア・人材マッチング</p> <p>ア 地域仕掛け人市 （開催日：R2.6.28、オンライン開催、参加者数：167名）</p> <p>イ ローカルベンチャーサミット（開催日：R2.10.27～31、オンライン開催、参加者数：452名）</p> <p>(2) 事業成長支援</p> <p>ア 自治体合同合宿（オンライン開催） R3.3.5</p> <p>4 ローカルベンチャー講演会 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>								
成 果								
<p>移住コンシェルジュによる移住相談は41件あり、そのうち10名が本市へ移住した。また、起業志望者を対象とした人材育成事業を始めとする各種事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部オンラインに変更して実施したが、これまで会場まで足を運ぶことが出来なかった方に対しても、起業に必要な知識を提供することにより、関係人口の創出及び本市への移住促進を図った。</p>								
成果に係る評価								
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、地方への移住機運が高まっていることから、本市へ移住していただけるよう、移住相談イベント等へ積極的に参加し、本市の魅力を発信していく必要がある。また、これまで実施してきた起業志望者や若者（子育て）世代に対する支援を継続するとともに、住宅に対する支援を実施し、定住に繋がる支援を展開していく必要がある。</p>								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	49,355,000		45,707,620		22,851,750			22,855,870

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																										
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()																										
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()																										
実施計画掲載ページ		P134	中 事 業	地域振興関係費																													
事業コード	006-001-001-01241	事 業 名	地域おこし協力隊設置事業																														
目的及び事業内容	<p>本事業は、三大都市圏または政令指定都市等から、地域活性化に意欲があり本市に定住する意思のある人材を募集し、隊員の受入れを希望する市内の事業者での就労を通して定住・定着を図るものである。</p> <p>地域おこし協力隊の事業内容は、被災沿岸地域（雄勝・北上・牡鹿）の活性化事業のほか、観光振興、医療・介護及び生活支援事業、農業や水産業等の6次産業化に関する事業等の分野での就労となっている。</p>																																
取組実績	<p>1 令和2年度の地域おこし協力隊員配属状況及び活動内容</p> <p>(1) 20代男性（前住所地：千葉県茂原市、H29.9.20委嘱、R2.9.19退任） 活動内容：地域レンタカー事業を企画し、半島沿岸部の交流人口拡大を行い、地域の活性化を図る活動</p> <p>(2) 40代女性（前住所地：熊本県熊本市、H30.8.20委嘱、R3.3.31退任） 活動内容：コミュニティナーズとして地域住民の相談窓口を作り、専門機関へ繋ぐ活動</p> <p>(3) 10代男性（前住所地：東京都調布市、H31.4.17委嘱、R3.3.31退任） 活動内容：観光情報の発信と震災伝承活動を通して、観光振興と地域へ貢献する活動</p> <p>(4) 30代男性（前住所地：宮城県仙台市、R1.9.2委嘱） 活動内容：無農薬栽培米等のブランド化や販路拡大を図りながら、地域の活性化を図る活動</p> <p>(5) 40代男性（前住所地：宮城県仙台市、R1.9.2委嘱） 活動内容：牡蠣の生産から加工販売までを通し、販路拡大を図りながら、6次産業を目指す活動</p> <p>2 定例会議の実施 地域おこし協力隊員と受入団体間の調整を図るため各受入団体に配置されたコーディネーターから、隊員と団体の近況を報告してもらう場を毎月設け、情報の共有や隊員の活動をサポートする事務局からのアドバイスを行った。</p>																																
成 果	<p>平成29年度から令和3年3月31日まで5名の方を委嘱し、地域課題に取り組んでいる受入事業者のもとで地域おこし活動に取り組んだ。</p> <p>令和2年度は新規隊員の採用はなかったが、任期満了等により退任した3名の隊員については、その後の市内での就労や定住に繋がっている。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標設置人数</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>設置人数</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>5名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>退任数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>退任後の定着者数 (就労含む)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3名</td> </tr> </table>									H29	H30	R1	R2	目標設置人数	6名	6名	6名	6名	設置人数	1名	2名	5名	5名	退任数				3名	退任後の定着者数 (就労含む)				3名
	H29	H30	R1	R2																													
目標設置人数	6名	6名	6名	6名																													
設置人数	1名	2名	5名	5名																													
退任数				3名																													
退任後の定着者数 (就労含む)				3名																													
成果に係る評価	<p>令和2年度は、5名の隊員が観光振興や6次産業化等様々なアプローチで地域活性化のために活動することができた。また、任期満了等により3名が退任したが、全員が就労や定住に繋がった。</p> <p>一方、本来は同時に6名の地域おこし協力隊員の配置を想定しているが、令和2年6月から新たな隊員の募集を行ったものの、年度内での採用決定に至らなかったことから、ホームページ等による募集だけでなく各種移住関連イベント等でも募集するほか、申込みしやすいように募集内容の明確化や選考過程等を見直す必要がある。</p>																																
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	24,031,100	22,384,295					22,384,295																										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()															
	1 項	総務管理費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		()															
	7 目	地域振興費		(2)	市民の主体的なスポーツ活動を支援する		()															
実施計画掲載ページ		P128	中 事 業	スポーツ交流関係事業費																		
事業コード	005-004-002-01301	事 業 名	スポーツ交流事業																			
目的及び事業内容	<p>幅広い参加者のもとスポーツ交流イベントを開催することにより、スポーツの楽しさや魅力を体感させ、スポーツ交流人口の増加や一体感の醸成を図るとともに、技術の向上と健康増進を図る。</p> <p>事業内容としては、本市の豊かな水辺空間を活かしたカヌー体験教室をはじめ、「武道の街 石巻」を提唱する「柔道」、「空手」の交流大会を実施するほか、その他スポーツ交流事業を実施する。</p>																					
取組実績	<p>1 親子カヌー体験教室（R2.9.19） 水辺のスポーツの楽しさや魅力を体感していただくことを目的に東京2020オリンピックカヌー競技の出場候補である本市出身アスリート等を講師に招き、親子カヌー体験教室を開催した。</p> <p>2 陸上競技クリニック in 石巻（R2.11.22） オリンピックを含む日本トップクラスの選手の技術を体感するとともに、陸上競技の楽しさや魅力に触れることを目的としたクリニックを開催した。</p> <p>3 石巻市長杯 第3回「武道の街 石巻」柔道・空手道交流大会 参加募集チラシ、PRポスターを作成したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催を中止した。</p>																					
成 果	<p>スポーツを通じた交流の場を創出するとともに、スポーツ交流人口の増加が図られた。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">年度</td> <td colspan="2">参加者数(人)</td> <td rowspan="2">達成率(%)</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>280</td> <td>398</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>280</td> <td>89</td> <td>32</td> </tr> </table>								年度	参加者数(人)		達成率(%)	目標値	実績値	R1	280	398	142	R2	280	89	32
年度	参加者数(人)		達成率(%)																			
	目標値	実績値																				
R1	280	398	142																			
R2	280	89	32																			
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度よりもスポーツイベント参加者数は減少したが、事業実施に当たっては、受付時の体温チェックをはじめ、手・指の消毒、参加者に健康チェックシートを記入いただく等の感染症対策を徹底し、2件のスポーツ交流イベントを開催することができた。</p> <p>今後は、これまで実施してきた小規模なスポーツ交流イベントを継続しながら、市内外から大勢の参加者を見込むことのできるスポーツ交流イベントを開催し、経済効果のあるスポーツ振興策を実施していく必要がある。</p>																					
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	2,200,000	2,110,618					2,110,618															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		()	
	7 目	地域振興費		(2)	市民の主体的なスポーツ活動を支援する		()	
実施計画掲載ページ		P128	中 事 業	東京オリンピック・パラリンピック機運醸成事業費				
事業コード		005-004-002-01302	事 業 名	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会機運醸成事業				
目的及び事業内容		東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を醸成するために、オリンピック・パラリンピック種目の体験教室等を実施するとともに、「復興五輪」と称される同大会を本市の復興発信の絶好機と捉え、これまで支援をいただいた国内外の方々に対する感謝の意を示すため、チュニジア共和国の関係者等と市民との交流を行うホストタウン事業を実施する。						
取組実績	1 ティーボール体験教室（R2.6.19～10.23） 市民の健康増進と野球振興を目的とした幼児及び児童向けのティーボール体験教室を実施した。							
	2 あすチャレ！School（R2.12.7～11/R3.3.9～12） 障がいやパラスポーツへの新たな気づきや学びにつながることを目的に、子どもたちがパラスポーツを実際に体験する事業を市内小学校5校・市内中学校2校で実施した。 また、市内小中学校の教職員及び市職員向けに共生社会に対する理解を深める研修を実施した。							
	3 ホストタウン事業 (1) チュニジア共和国へ送る動画の制作 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される令和3年度の交流に向け、弾みをつけるとともに、同競技大会以降も続くチュニジア共和国とのつながりを深めるため、本市の復興状況及び魅力を納めたDVD動画をチュニジア共和国関係者に送付した。 (2) 復興ありがとうホストタウン連絡協議会公式Instagramへの定期投稿 復興ありがとうホストタウン自治体等で構成する「復興ありがとうホストタウン連絡協議会」が、Instagramの運用を開始したことから、国内外に本市の魅力や相手国との交流を効果的に発信できる絶好機と捉え、本市も毎月1回程度投稿した。 (3) 在日チュニジア共和国大使館関係者の東日本大震災石巻市追悼式への参列 本市主催の追悼式にモハメッド・エルミ特命全権大使及びモハメッド・トゥカブリー等書記官に参列いただくとともに、令和3年度の事前合宿等に向けた協議を実施した。							
成 果	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が1年延期となったが、ホストタウンの情報発信及び認知度向上につながる取組を充実させることができたほか、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、あすチャレ！School等の参加型の教室等も実施することができた。							
			参加者数(人)		達成率(%)			
		年度	目標値	実績値				
		R1	1,350	9,602	711			
		R2	3,650	696	19			
成果に係る評価		東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が延期となり、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、令和元年度よりもイベント等参加者数は減少したが、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、各種の取組を実施し、令和3年度の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を図る必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	664,000		502,399		282,457		219,942	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()	
	8 目	離島振興費		(2)	離島の交通手段を確保する		()	
実施計画掲載ページ		P141	中 事 業	離島振興対策費				
事業コード		006-004-002-00015	事 業 名	離島航路維持事業				
目的及び事業内容		離島航路は島民の交通手段、生活物資の輸送手段として欠かすことのできない重要な生活基盤であるため、離島航路事業の安定的な経営を目的として航路事業者への支援を行う。事業内容として、運航経営安定のための航路事業者への欠損分補助、島民の夜間緊急搬送の際に対応する田代島への船舶待機費用、島民運賃割引の実施に対する補助金の交付を実施する。						
取組実績	1 離島航路維持費補助金の交付 航路事業者の安定的な運航経営を実現するため、国、県と協調しながら、航路維持費の欠損分に対して補助金を交付した。							
	2 離島航路経営安定化補助金の交付 夜間の救急患者搬送に備えた、田代島への船舶及び船員の待機に要する費用に対して補助金を交付した。 3 離島住民運賃割引の実施に対する補助金の交付 島民の交通手段、生活物資の輸送手段である離島航路の利便性向上のため、島民の運賃割引を実施し、国、県の補助対象外となる、運賃収入欠損分に対して補助金を交付した。							
成 果	島内の人口減少や少子高齢化、過疎化の影響が著しく、島民の輸送人員は減少傾向にありながらも、航路事業者の経営努力や観光施設の復旧等による交流人口の拡大に伴い、総輸送人員の増加は令和元年度まで続いてきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、総輸送人員は前年度と比べて約40,000人減少した。							
			年度	H28	H29	H30	R1	R2
		離島航路利用者数	94,376人	90,084人	94,310人	104,281人	64,188人	
成果に係る評価		近年では、2隻の新造船（高速フェリー「マーメイドII」、中型旅客船「シーキャット」）が就航したほか、中央地区に新たな発着所、事務所、待合所を開設、航路事業者の鮎川営業所を「観光物産交流施設(cottu)」内に移転したことで、利用者の利便性向上が図られた。 現在、門脇地区離島航路駐車場の整備を進めており、令和4年度中の完了を予定している。更なる離島航路利用者の増加、利便性向上を図ることで、引き続き離島航路維持に努めていく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	151,150,000		126,451,887		40,851,020		85,600,000	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		(5)	生活環境の整備
	8 目	離島振興費		(2)	離島の交通手段を確保する		(3)	公共交通の復旧
実施計画掲載ページ		P142、P190		中 事 業	離島振興対策費			
事業コード		006-004-002-01382 002-503-003-01224		事 業 名	離島航路駐車場整備事業			
目的及び事業内容								
<p>離島と本土を結ぶ航路は島民の生活を支えるうえで重要な役割を担っているほか、田代島及び網地島は観光地としても全国から注目を集めており、多くの観光客が訪れている。島民や観光客等の離島航路利用者の更なる利用拡大と利便性向上のため、門脇地区における離島航路駐車場を整備する。</p>								
取組実績								
<p>1 離島航路駐車場整備工事 周辺で行われている堤防工事やかわみなど大橋橋梁工事に支障が出ない範囲での盛土工事を実施した。</p> <p>2 離島航路駐車場流末排水施設等整備工事 堤脚水路から南浜マリーナ用地内のマンホールに雨水を排水する水路整備を実施した。</p>								
成果								
<p>令和元年度に策定した離島航路排水計画設計を基に、駐車場流末排水施設等整備を実施し、完了した。また、離島航路駐車場整備工事として、主に実際に車を停めることとなる駐車場部分の盛土工事(V=6,160m³)を実施した。</p>								
成果に係る評価								
<p>離島航路駐車場流末排水工事等整備事業が完了したため、事業の進捗が図られた。離島航路駐車場整備工事の盛土工事については未完了部分もあるが、引き続き盛土工事を実施するには、現在、航路事業者が事務所として使用しているトレーラーハウスを移転する必要があり、航路事業者との調整を図りながら、事務所の移設及び盛土工事を進め、令和4年度中の整備完了を目指す。</p>								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	49,978,300		48,971,100			46,500,000		2,471,100

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																													
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																													
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																													
実施計画掲載ページ		P140		中 事 業	地域交通対策関係費																																																															
事業コード		006-004-001-00011		事 業 名	住民バス運行費補助事業																																																															
目的及び事業内容																																																																				
<p>バス路線などの公共交通機関が発達していない交通空白地域の住民の移動手段確保のため、各地区の運行協議会が運行する住民バス及び乗合タクシーの運行費を一部補助することで、地域の実情に応じた住民バス及び乗合タクシーの運行を支援する。</p>																																																																				
取組実績																																																																				
<p>地域の実情に最適な交通手段の確保を目指し、運行ルートの変更や停留所の新設等を実施しながら住民バスを運行した事業主体に対し、補助金を交付することで、地域交通を確保した。</p> <p>令和2年度運行協議会別補助金の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>運行主体</th> <th>運行形態</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>6,834,464円</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>雄勝地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>22,282,075円</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>河南地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>デマンド運行</td> <td>6,737,191円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>桃生地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>12,067,935円</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>北上地区住民バス等運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>8,257,711円</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>稲井地域乗合タクシー運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>7,740,232円</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>荻浜地区住民バス運行協議会</td> <td>定時定路線</td> <td>4,672,225円</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>山の手地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>デマンド運行</td> <td>2,890,990円</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会</td> <td>デマンド運行</td> <td>3,039,700円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>74,522,523円</td> </tr> </tbody> </table>									名 称	運行主体	運行形態	補助金額	河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	定時定路線	6,834,464円	雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	定時定路線	22,282,075円	河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	6,737,191円	桃生地区住民バス	桃生地区住民バス運行協議会	定時定路線	12,067,935円	北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	定時定路線	8,257,711円	稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	定時定路線	7,740,232円	荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	定時定路線	4,672,225円	山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	2,890,990円	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	デマンド運行	3,039,700円	合計			74,522,523円																
名 称	運行主体	運行形態	補助金額																																																																	
河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	定時定路線	6,834,464円																																																																	
雄勝地区住民バス	雄勝地区住民バス運行協議会	定時定路線	22,282,075円																																																																	
河南地区乗合タクシー	河南地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	6,737,191円																																																																	
桃生地区住民バス	桃生地区住民バス運行協議会	定時定路線	12,067,935円																																																																	
北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	定時定路線	8,257,711円																																																																	
稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	定時定路線	7,740,232円																																																																	
荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	定時定路線	4,672,225円																																																																	
山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	デマンド運行	2,890,990円																																																																	
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	デマンド運行	3,039,700円																																																																	
合計			74,522,523円																																																																	
成果																																																																				
<p>住民バス及び乗合タクシーの運行費に対する補助を行ったことで、地域住民の移動手段を確保した。また、地域の実情に応じた運行ルートの変更など、利用者の利便性向上を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>4,005人</td> <td>1,386便</td> <td>2,641人</td> <td>1,364便</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>15,843人</td> <td>7,810便</td> <td>13,440人</td> <td>7,084便</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>4,488人</td> <td>3,032便</td> <td>3,703人</td> <td>2,609便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>4,627人</td> <td>2,304便</td> <td>2,250人</td> <td>2,330便</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>4,652人</td> <td>1,422便</td> <td>3,551人</td> <td>1,452便</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>7,537人</td> <td>4,378便</td> <td>6,135人</td> <td>3,390便</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>1,085人</td> <td>282便</td> <td>956人</td> <td>294便</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>5,713人</td> <td>3,598便</td> <td>4,258人</td> <td>2,889便</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>5,791人</td> <td>3,629便</td> <td>5,119人</td> <td>3,388便</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>53,741人</td> <td>27,841便</td> <td>42,053人</td> <td>24,800便</td> </tr> </tbody> </table>									名 称	R1		R2		利用者数	便数	利用者数	便数	河北地区住民バス	4,005人	1,386便	2,641人	1,364便	雄勝地区住民バス	15,843人	7,810便	13,440人	7,084便	河南地区乗合タクシー	4,488人	3,032便	3,703人	2,609便	桃生地区住民バス	4,627人	2,304便	2,250人	2,330便	北上地区住民バス	4,652人	1,422便	3,551人	1,452便	稲井地域乗合タクシー	7,537人	4,378便	6,135人	3,390便	荻浜地区住民バス	1,085人	282便	956人	294便	山の手地区乗合タクシー	5,713人	3,598便	4,258人	2,889便	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	5,791人	3,629便	5,119人	3,388便	合計		53,741人	27,841便	42,053人	24,800便
名 称	R1		R2																																																																	
	利用者数	便数	利用者数	便数																																																																
河北地区住民バス	4,005人	1,386便	2,641人	1,364便																																																																
雄勝地区住民バス	15,843人	7,810便	13,440人	7,084便																																																																
河南地区乗合タクシー	4,488人	3,032便	3,703人	2,609便																																																																
桃生地区住民バス	4,627人	2,304便	2,250人	2,330便																																																																
北上地区住民バス	4,652人	1,422便	3,551人	1,452便																																																																
稲井地域乗合タクシー	7,537人	4,378便	6,135人	3,390便																																																																
荻浜地区住民バス	1,085人	282便	956人	294便																																																																
山の手地区乗合タクシー	5,713人	3,598便	4,258人	2,889便																																																																
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	5,791人	3,629便	5,119人	3,388便																																																																
合計		53,741人	27,841便	42,053人	24,800便																																																															
成果に係る評価																																																																				
<p>住民バス及び乗合タクシーは、交通空白地域の住民の方々が、交通体系に対する不便を解消するために非常に重要な役割を担っていることから、地域住民の実情を踏まえ、運行経路等の運行内容を見直すなど、適宜、利便性向上のため取り組んだ。</p> <p>今後は、令和3年度中に改定予定の総合交通戦略に基づき、各地区の利用者の実態を把握しながら、更なる利用率向上のため、路線バスとの接続等を考慮したバスの再編を検討していく必要がある。</p>																																																																				
(単位：円)																																																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
	78,324,000		74,522,523		3,884,000		70,000,000	638,523																																																												

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																											
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																											
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																											
実施計画掲載ページ		P 141	中 事 業	社鹿地区市民バス運行事業費																														
事業コード		006-004-001-00012	事 業 名	社鹿地区市民バス運行事業																														
目的及び事業内容		社鹿地区については公共交通体系が充足していない交通空白地帯が多く、地区内に交通事業者がないことから、市が主体となって市民バスを運行することで、住民の日常生活における移動手段を確保する。																																
取組実績		<p>小網倉地区復興県道の整備に伴うバスの乗入れにおいて、利用者の利便性を考慮し、寄磯～鮎川線下り便における清水田～小網倉団地バス停区間において、通過順を清水田、二渡、小網倉、小網倉団地から小網倉団地、小網倉、二渡、清水田と逆周りに変更した。</p> <p>運行概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>運行状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～鮎川線</td> <td>平日 13便/日 土曜日 4便/日 (日・祝日・年末年始は原則運休)</td> </tr> <tr> <td>泊～清優館線</td> <td>平日 7便/日 土曜日 4便/日 (日・祝日・年末年始は原則運休)</td> </tr> <tr> <td>泊～大原線</td> <td>平日 1便/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休)</td> </tr> <tr> <td>網地島線</td> <td>5便/日 (年末年始は原則運休)</td> </tr> </tbody> </table>							路線名	運行状況	寄磯～鮎川線	平日 13便/日 土曜日 4便/日 (日・祝日・年末年始は原則運休)	泊～清優館線	平日 7便/日 土曜日 4便/日 (日・祝日・年末年始は原則運休)	泊～大原線	平日 1便/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休)	網地島線	5便/日 (年末年始は原則運休)																
路線名	運行状況																																	
寄磯～鮎川線	平日 13便/日 土曜日 4便/日 (日・祝日・年末年始は原則運休)																																	
泊～清優館線	平日 7便/日 土曜日 4便/日 (日・祝日・年末年始は原則運休)																																	
泊～大原線	平日 1便/日 (土・日・祝日・年末年始は原則運休)																																	
網地島線	5便/日 (年末年始は原則運休)																																	
成 果		<p>寄磯～鮎川線下り便における清水田～小網倉団地バス停区間において、通過順を変更することで、利用者の利便性向上が図られた。</p> <p>また、復興関連工事で整備している通学路の歩道整備が未完了であることから、当該市民バスは、小学校までのスクールバスとしての機能も兼ねており、小学生の安全な通学手段が確保された。</p> <p>市民バス運行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般利用</td> <td>15,424人</td> <td>14,329人</td> <td>9,848人</td> </tr> <tr> <td>教育目的利用</td> <td>9,523人</td> <td>7,503人</td> <td>8,481人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>24,947人</td> <td>21,832人</td> <td>18,329人</td> </tr> <tr> <td>運行便数</td> <td>7,286便</td> <td>7,179便</td> <td>7,611便</td> </tr> </tbody> </table> <p>教育目的利用区間</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>利用区間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～鮎川線</td> <td>寄磯～小淵(上り4便、下り4便)</td> </tr> <tr> <td>泊～清優館線</td> <td>鮎川金山～鮎川小(上り1便、下り2便)</td> </tr> </tbody> </table>								H30	R1	R2	一般利用	15,424人	14,329人	9,848人	教育目的利用	9,523人	7,503人	8,481人	利用者数合計	24,947人	21,832人	18,329人	運行便数	7,286便	7,179便	7,611便	路線名	利用区間	寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り4便、下り4便)	泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り1便、下り2便)
	H30	R1	R2																															
一般利用	15,424人	14,329人	9,848人																															
教育目的利用	9,523人	7,503人	8,481人																															
利用者数合計	24,947人	21,832人	18,329人																															
運行便数	7,286便	7,179便	7,611便																															
路線名	利用区間																																	
寄磯～鮎川線	寄磯～小淵(上り4便、下り4便)																																	
泊～清優館線	鮎川金山～鮎川小(上り1便、下り2便)																																	
成果に係る評価		<p>社鹿地区の人口減少に伴い、利用者は年々減少している状況であるが、当該市民バスは、移動手段を持たない交通弱者の通院・買物等の移動手段として活用され、地域住民の足としての役割を果たしている。</p> <p>また、小学生のスクールバスとしての機能も兼ねており、今後も運行を維持していく必要があることから、適切な路線の再編を検討するとともに、経済面や安全面の観点から車両の小型化を検討するなど、地域の实情に応じたバス運行を実施していく必要がある。</p>																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	32,438,000	32,387,018	255,000	27,197,100	4,934,918																													

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																						
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																						
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																						
実施計画掲載ページ		P 140	中 事 業	地域交通対策関係費																																																									
事業コード		006-004-001-00010	事 業 名	路線バス運行維持対策補助事業																																																									
目的及び事業内容		<p>自家用車等の移動手段を持たない交通弱者や、運転が困難な市民の日常生活における交通手段を確保するため、株式会社ミヤコーバスが運行する広域路線バス(旧市外及び市内運行)及び市単独路線バス(旧市内のみ運行)の運行費を一部補助することで、持続可能な路線バスの運行を支援するもの。</p>																																																											
取組実績		<p>地域の实情に応じた交通手段を確保、維持するため、運行事業者に対し運行費補助を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>運行経路</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">広域バス路線</td> <td>石巻免許センター線</td> <td>石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院</td> <td>5,030,625円</td> </tr> <tr> <td>河南線</td> <td>石巻駅前～傘松～河南総合支所</td> <td>6,840,177円</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学線</td> <td>石巻駅前～石巻専修大学～飯野川</td> <td>5,392,905円</td> </tr> <tr> <td>河北線</td> <td>石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川</td> <td>11,918,654円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鮎川線</td> <td>石巻駅前～筒場～鮎川港</td> <td rowspan="3">16,085,794円</td> </tr> <tr> <td>石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港</td> </tr> <tr> <td>イオン石巻東店～荻浜～鮎川港</td> </tr> <tr> <td>イオン石巻東店～サンファンパーク～鮎川港</td> <td></td> </tr> <tr> <td>女川線(嵩上げ補助)</td> <td>石巻駅前～筒場～女川運動公園前</td> <td>3,090,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学線</td> <td>石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館</td> <td>5,024,000円</td> </tr> <tr> <td>中里線</td> <td>石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅</td> <td>8,919,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">市単独路線</td> <td>石巻駅前～門脇五丁目～石巻駅前</td> <td>1,350,000円</td> </tr> <tr> <td>山下門脇線</td> <td>石巻駅前～いしのまき元気いちば～石巻駅前</td> <td>1,431,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻日赤線</td> <td>石巻駅前～蛇田～日赤病院(石巻)</td> <td>2,371,000円</td> </tr> <tr> <td>鹿妻線</td> <td>石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店</td> <td>6,444,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>石巻駅前～いしのまき元気いちば～イオン石巻東店</td> <td>15,521,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻渡波線(R1.10～)</td> <td>石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店</td> <td>4,977,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>94,395,155円</td> </tr> </tbody> </table>							路線名	運行経路	補助金額	広域バス路線	石巻免許センター線	石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院	5,030,625円	河南線	石巻駅前～傘松～河南総合支所	6,840,177円	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	5,392,905円	河北線	石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川	11,918,654円	鮎川線	石巻駅前～筒場～鮎川港	16,085,794円	石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港	イオン石巻東店～荻浜～鮎川港	イオン石巻東店～サンファンパーク～鮎川港		女川線(嵩上げ補助)	石巻駅前～筒場～女川運動公園前	3,090,000円	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	5,024,000円	中里線	石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅	8,919,000円	市単独路線	石巻駅前～門脇五丁目～石巻駅前	1,350,000円	山下門脇線	石巻駅前～いしのまき元気いちば～石巻駅前	1,431,000円	石巻日赤線	石巻駅前～蛇田～日赤病院(石巻)	2,371,000円	鹿妻線	石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店	6,444,000円		石巻駅前～いしのまき元気いちば～イオン石巻東店	15,521,000円	石巻渡波線(R1.10～)	石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店	4,977,000円		合計	94,395,155円
路線名	運行経路	補助金額																																																											
広域バス路線	石巻免許センター線	石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院	5,030,625円																																																										
	河南線	石巻駅前～傘松～河南総合支所	6,840,177円																																																										
	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～飯野川	5,392,905円																																																										
	河北線	石巻あゆみ野駅～鹿又駅前～飯野川	11,918,654円																																																										
	鮎川線	石巻駅前～筒場～鮎川港	16,085,794円																																																										
		石巻駅前～サンファンパーク～鮎川港																																																											
		イオン石巻東店～荻浜～鮎川港																																																											
	イオン石巻東店～サンファンパーク～鮎川港																																																												
	女川線(嵩上げ補助)	石巻駅前～筒場～女川運動公園前	3,090,000円																																																										
	石巻専修大学線	石巻駅前～石巻専修大学～ルネッサンス館	5,024,000円																																																										
中里線	石巻駅前～中里六丁目～石巻あゆみ野駅	8,919,000円																																																											
市単独路線	石巻駅前～門脇五丁目～石巻駅前	1,350,000円																																																											
	山下門脇線	石巻駅前～いしのまき元気いちば～石巻駅前	1,431,000円																																																										
	石巻日赤線	石巻駅前～蛇田～日赤病院(石巻)	2,371,000円																																																										
	鹿妻線	石巻駅前～さくら町西～イオン石巻東店	6,444,000円																																																										
		石巻駅前～いしのまき元気いちば～イオン石巻東店	15,521,000円																																																										
	石巻渡波線(R1.10～)	石巻駅前～不動町一丁目～イオン石巻東店	4,977,000円																																																										
	合計	94,395,155円																																																											
成 果		<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、乗車率が低い路線が多いことから総じて市の補助金額は増加している。また、広域バス路線については、国庫補助の対象となる1日あたりの輸送量が15人以上の路線は1路線1系統となっており、利用率向上に向けた取組が必要である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広域バス路線・系統数</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> </tr> <tr> <td>うち1日あたりの輸送量が15人以上の路線・系統数</td> <td>2路線2系統</td> <td>2路線2系統</td> <td>1路線1系統</td> </tr> </tbody> </table>							年度	H30	R1	R2	広域バス路線・系統数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統	うち1日あたりの輸送量が15人以上の路線・系統数	2路線2系統	2路線2系統	1路線1系統																																									
年度	H30	R1	R2																																																										
広域バス路線・系統数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																																										
うち1日あたりの輸送量が15人以上の路線・系統数	2路線2系統	2路線2系統	1路線1系統																																																										
成果に係る評価		<p>日常生活における市民の交通手段確保の観点から、持続的に路線バスを維持していくことは、非常に重要である。</p> <p>国庫補助金について、現在はコロナ禍の影響を考慮し、輸送量の要件が緩和されており全路線が国庫補助の対象となっているが、令和5年度をもって本緩和措置が終了することから、利用率の低い路線が国庫補助の対象外となる可能性があり、市の補助金負担が増加することが見込まれる。</p> <p>平成31年4月からはICカードを導入しており、利用者の利便性向上だけでなく、利用者の実態を把握することができる観点からも非常に重要な役割を持っていることから、今後は、利用者の現状を的確に把握したうえで、利用者の増加や利便性向上を図るため、これまで以上に住民バスや鉄道等との接続を考慮した路線の再編を検討していく必要がある。</p>																																																											
(単位：円)																																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
	138,024,000	94,395,155			91,208,408	3,186,747																																																							

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																													
	1 項	総務管理費		第2節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()																													
	10 目	男女共同参画推進費		(3)	男女共同参画社会を構築する		()																													
実施計画掲載ページ		P 15	中 事 業	男女共同参画推進費																																
事業コード		001-002-003-00017	事 業 名	男女共同参画推進事業																																
目的及び事業内容		男性も女性もすべての個人が社会の対等な構成員として、自らの意思によってあらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、政治的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担う男女共同参画社会の実現を目指し、総合的かつ計画的に推進するため、石巻市男女共同参画基本計画の進行管理及び女性人材育成事業や啓発事業を実施する。																																		
取組実績		<p>1 石巻市男女共同参画基本計画（第3次：平成29年度～令和2年度）の進捗管理</p> <p>(1) 石巻市男女共同参画推進審議会へ諮問し、「概ね妥当」との答申を得た。</p> <p>(2) 調査により各種指標の指数を把握した。</p> <p>2 石巻市男女共同参画基本計画（第3次）に基づいて、各種男女共同参画推進事業を実施 ※主な事業のみ掲載</p> <p>(1) 市の審議会・委員会等への女性の参画促進 「女性人材リストの管理、登録者募集、活用促進」</p> <p>(2) 女性の人材育成 「女性人材育成セミナー」</p> <p>(3) 男女共同参画の視点からの意識啓発 「男女共創セミナー」「男女共同参画週間」「桜坂高等学校講話」</p> <p>(4) 市の申請書等の性別記載削除の推進</p> <p>(5) 関係団体の男女共同参画推進事業に対する後援</p> <p>(6) 市報、市ホームページ、資料配布等を通しての意識啓発</p> <p>3 第4次男女共同参画基本計画の策定 石巻市男女共同参画基本計画（第4次：令和3年度～令和7年度）を策定した。</p>																																		
成 果		<p>石巻市男女共同参画基本計画（第3次）に基づく各種施策の実施により、男女共同参画社会の形成の促進や意識啓発が図られた。</p> <p>成果指標については、市の審議会・委員会等への女性委員の登用率の目標値は40%であるが、令和2年度実績は26.3%だった。女性人材リストの登録者は、高齢化等により登録者数が6名減少したが、新たに7名が登録され140人となった。</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <caption>1 審議会等の女性委員の登用率</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>40.0%</td> <td>27.1%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>40.0%</td> <td>25.8%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>40.0%</td> <td>26.3%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <caption>2 女性人材リスト登録者数</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>180人</td> <td>142人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>180人</td> <td>139人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>180人</td> <td>140人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		目標値	実績等	H30	40.0%	27.1%	R1	40.0%	25.8%	R2	40.0%	26.3%	区分	成果指標		目標値	実績等	H30	180人	142人	R1	180人	139人	R2	180人	140人
区分	成果指標																																			
	目標値	実績等																																		
H30	40.0%	27.1%																																		
R1	40.0%	25.8%																																		
R2	40.0%	26.3%																																		
区分	成果指標																																			
	目標値	実績等																																		
H30	180人	142人																																		
R1	180人	139人																																		
R2	180人	140人																																		
成果に係る評価		女性委員の登用率に関しては、前年度よりも増加しているが、目標値には届いていないため引き続き女性人材リスト等を活用して関係課へ女性の登用を推進していく。 女性人材リスト登録者数については、市報やホームページによる周知のほか、各種セミナー開催時において登録促進の呼びかけを行うなど、目標値が達成できるよう登録者数の増加を目指す。 男女共同参画社会の実現のためには、性別や年代等関係なく様々な立場の人々の意識醸成が必要なことから、引き続き関係課や女性活躍推進会議と連携を図り、啓発セミナーや情報周知等において、有効な施策を実施していく。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	3,885,000	3,517,706	114,000			3,403,706																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()	
	10 目	男女共同参画推進費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()	
実施計画掲載ページ		P 80	中 事 業	男女共同参画推進費				
事業コード		004-003-001-01127	事 業 名	子育てしやすい職場環境整備推進事業				
目的及び事業内容		育児に対する男性の意識改革を図り、夫婦がともに仕事、家事、育児等を両立させる意識を醸成することで、女性の社会進出、女性の活躍促進にもつながることを目的とする。						
取組実績		<p>男性の育児を含むワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場の上司の理解促進のために「イクボス研修」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本市の職員を対象としたイクボスに関するアンケートを実施した。</p> <p>また、誰もが活躍できる家庭・職場に向けて、理解と協力を醸成した社会環境をつくるため、「女性活躍推進セミナー」を開催したほか、育児だけでなく、家事についても性別役割分担意識があるため、家事支援に焦点を絞った「家事ギャップ解消セミナー」を開催した。</p> <p>1 イクボスに関するアンケート</p> <p>(1) 対 象：ポスト課長補佐以上の職員 350名</p> <p>(2) 回答数：327名（回答率93.4%）</p> <p>2 女性活躍推進セミナー 「～女性の働き方に対する、女性及び社員全体の意識改革～」</p> <p>(1) 参加者：10名（石巻圏域の中小企業の人事・総務・女性活躍推進の担当者など）</p> <p>(2) 後 援：石巻市女性活躍推進会議</p> <p>3 家事ギャップ解消セミナー</p> <p>(1) 参加者：28名（市内在住・在勤の方）</p> <p>(2) 共 催：ライオン株式会社（包括連携協定）</p>						
成 果		女性活躍推進セミナーでは、家事・育児と仕事を両立するために夫婦間で分担する必要性や、女性が活躍しやすい職場環境の整備に向けた意識啓発が図られた。 また、家事ギャップ解消セミナーでは、講話・実習を通じて、家庭内における家事に関する意識・行動のギャップを解消するとともに、男性の家事や育児に対する理解促進が図られた。						
成果に係る評価		イクボスに関するアンケートでは、ワーク・ライフ・バランスを常に意識し実践しているという回答が全体の22%となっていることから、今後更に意識啓発を進めていく必要がある。 また、家事ギャップ解消セミナーの参加者からは、セミナーで学んだ内容について今後意識していきたいとの声が多く寄せられ、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、今後も事業を継続していく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	92,000	60,754	17,000			43,754		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材を はぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 34		中 事 業	国際交流推進費			
事業コード		002-003-001-00018		事 業 名	温州市との友好都市交流事業			
目的及び事業内容		<p>両市がこれまで築いてきた友好関係を継続し発展させるため、議定書に基づき文化・スポーツ等の様々な交流事業を通して相互理解と友好協力関係の促進を図り、両市の活性化を目指すことを目的とする。</p> <p>令和2年度においては、スポーツ交流事業を実施する。</p>						
取 組 実 績		<p>1 第6回いしのみき復興マラソンへの受入れ ※新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止</p> <p>2 温州市からコロナ禍における支援物資の寄附 (1) 時期：令和2年4月～6月 (2) 内容：マスク 20,000枚</p>						
成 果		<p>令和2年度においては、コロナ禍の中、交流事業は実施できなかったが、令和元年度に本市から10,000枚のマスクを送ったのに対し、温州市からはコロナの収束に伴い20,000枚のマスクが届き、両市の友好協力関係を改めて認識することができた。</p>						
成果に係る評価		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止となり直接的な交流はできなかったが、今後も両市の素晴らしい友好協力関係を継続していけるよう、また、両市の活性化に繋がるよう新型コロナウイルス感染症終息後の交流事業再開を目指し、友好都市35周年事業の際に温州市より打診のあった経済交流及び青少年交流などについて準備を進め、事業展開していく必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	16,760		16,760					16,760

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																																					
	1 項	総務管理費		第3節	市民満足度の高い行政サービスを提供する		()																																					
	11 目	国際交流費		(2)	行政サービスの質の向上を図る		()																																					
実施計画掲載ページ		P 16		中 事 業	国際交流推進費																																							
事業コード		001-003-002-01243		事 業 名	外国人相談窓口開設事業																																							
目的及び事業内容		<p>本市に暮らす外国人が安心して生活できるよう、また地域住民の一員として日本人住民と共生できるよう支援することを目的とし、市内在住の外国人住民を対象に、外国人相談窓口を平日9時から17時まで開設する。</p> <p>同窓口では、庁舎内での各種手続きのサポートを始め、市政情報の提供、市民生活全般にわたる相談に対応するとともに、専門機関への紹介等を行う。</p>																																										
取 組 実 績		<p>1 開設状況 (1) 火曜日：中国語（中国人通訳） (2) 木曜日：ベトナム語・英語（ベトナム人通訳） (3) 月～金曜日：英語・日本語（職員対応） ※令和2年12月～令和3年3月の4か月間、試験的に13言語で対応可能な多言語映像通訳を活用</p> <p>2 開設場所 (1) 復興政策部地域振興課内</p> <p>3 相談内容 (1) 行政手続きに係る通訳及び補助 (2) 生活全般に係る相談（新型コロナウイルス感染症関連含む） (3) その他の相談（日本語教室についてなど）</p> <p>4 言語別相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>言語</th> <th>中国語</th> <th>ベトナム語</th> <th>韓国語</th> <th>タガログ語</th> <th>英語</th> <th>ポルトガル語</th> <th>日本語</th> <th>合計件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>24件</td> <td>35件</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td></td> <td>1件</td> <td>68件</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 相談窓口の周知 本市の外国人住民（1,238人）に対し、本市の外国人相談窓口及び宮城県新型コロナウイルス感染症受診・相談センターのチラシとカード等を、個別に郵送にて配布した。</p>							言語	中国語	ベトナム語	韓国語	タガログ語	英語	ポルトガル語	日本語	合計件数	件数	24件	35件	1件	3件	1件		1件	68件																		
言語	中国語	ベトナム語	韓国語	タガログ語	英語	ポルトガル語	日本語	合計件数																																				
件数	24件	35件	1件	3件	1件		1件	68件																																				
成 果		<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、令和元年度末は相談者が大きく減少したが、令和2年度に入ってからは新型コロナウイルス感染症関連の相談が多く、年間の相談件数も増加した。</p> <p>また、相談窓口のチラシ等の個別配布及び外国人同士の口コミなども相談者件数の増加に繋がったものと考えられる。</p> <p>相談件数の増加については一概に喜べることではないが、外国人相談窓口の設置により、外国人住民の不安や負担を軽減し、安心した生活を送る上で一助となることができた。</p> <p>【市内在住外国人の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>1,012人</td> <td>1,044人</td> <td>1,242人</td> <td>1,313人</td> <td>1,358人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【外国人相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>50件</td> <td>50件</td> <td>50件</td> <td>50件</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>36件</td> <td>48件</td> <td>49件</td> <td>32件</td> <td>68件</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>72%</td> <td>96%</td> <td>98%</td> <td>64%</td> <td>136%</td> </tr> </tbody> </table>							年度	H28	H29	H30	R1	R2	人数	1,012人	1,044人	1,242人	1,313人	1,358人	年度	H28	H29	H30	R1	R2	目標	50件	50件	50件	50件	50件	実績	36件	48件	49件	32件	68件	達成率	72%	96%	98%	64%	136%
年度	H28	H29	H30	R1	R2																																							
人数	1,012人	1,044人	1,242人	1,313人	1,358人																																							
年度	H28	H29	H30	R1	R2																																							
目標	50件	50件	50件	50件	50件																																							
実績	36件	48件	49件	32件	68件																																							
達成率	72%	96%	98%	64%	136%																																							
成果に係る評価		<p>例年課題となっていた外国人住民に対する相談窓口に関しての周知については、18歳以上の外国人住民に対し個別にチラシ及びカードを配布したことから、同窓口について認識してもらうことができ、相談者件数の増加にも繋がった。</p> <p>また、対応言語については、行政サービスの向上に繋げるため、外国人数の多い中国語及びベトナム語の相談員配置に加え、多言語映像通訳などを導入し常時多言語で対応可能な体制を構築する必要がある。</p>																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	452,934		408,494					408,494																																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																																																	
	1 項	総務管理費		第3節	市民満足度の高い行政サービスを提供する		()																																																	
	11 目	国際交流費		(2)	行政サービスの質の向上を図る		()																																																	
実施計画掲載ページ		P16	中 事業	国際交流推進費																																																				
事業コード	001-003-002-01244	事業名	日本語教室等開設事業																																																					
目的及び事業内容	<p>本市に居住する外国人同士、そして外国人と日本人との相互理解を深めるための交流の場を提供するとともに外国人住民が本市に生活する上で必要な日本語、日本文化、風習等を学ぶ機会を提供し、外国人住民が安心・安全に暮らせる多文化共生社会の推進を図る。</p> <p>外国人と日本人の交流の場として、日本文化等を楽しむ学ぶ「じゃばNeeds（にーず）塾」を実施する。</p> <p>また、外国人を対象に日本語教室を運営している団体へ補助金を交付するほか、同団体との共催により、各種事業を実施する。</p>																																																							
取組実績	<p>1 じゃばNeeds（にーず）塾の開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止</p> <p>2 外国人のための日本語教室開催等 (1) 楽しい日本語教室の開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響により休講時期あり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室</th> <th>日時</th> <th>年間開講回数</th> <th>登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語教室 (一般外国人対象)</td> <td>毎週月曜日</td> <td>25回</td> <td>11か国 16名</td> </tr> <tr> <td>日本語教室 (技能実習生対象)</td> <td>第2・4日曜日</td> <td>19回</td> <td>4か国 29名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 研修会・交流会の開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>								教室	日時	年間開講回数	登録者数	日本語教室 (一般外国人対象)	毎週月曜日	25回	11か国 16名	日本語教室 (技能実習生対象)	第2・4日曜日	19回	4か国 29名																																				
	教室	日時	年間開講回数	登録者数																																																				
	日本語教室 (一般外国人対象)	毎週月曜日	25回	11か国 16名																																																				
日本語教室 (技能実習生対象)	第2・4日曜日	19回	4か国 29名																																																					
成果	<p>じゃばNeeds（にーず）塾においては、新型コロナウイルス感染症の影響により開講を見合わせたことが、コロナ収束後の再開を望む声が多く聞こえてきた。</p> <p>日本語教室においては、休講期間を経て開講した。新型コロナウイルス感染症の影響により登録者数が減少したが、年度末に向けて参加者が増加し通常どおり開講できた。</p> <p>楽しい日本語教室学習者数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">◆日本語教室（一般外国人対象）</th> <th colspan="4">◆日本語教室（技能実習生対象）</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>学習者数</th> <th>出身国数</th> <th>開講回数</th> <th>年度</th> <th>学習者数</th> <th>出身国数</th> <th>開講回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>30人</td> <td>9カ国</td> <td>39回</td> <td>H29</td> <td>21人</td> <td>1カ国</td> <td>22回</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>42人</td> <td>15カ国</td> <td>37回</td> <td>H30</td> <td>38人</td> <td>3カ国</td> <td>23回</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>45人</td> <td>16カ国</td> <td>33回</td> <td>R1</td> <td>40人</td> <td>4カ国</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>16人</td> <td>11カ国</td> <td>25回</td> <td>R2</td> <td>29人</td> <td>4カ国</td> <td>19回</td> </tr> </tbody> </table>								◆日本語教室（一般外国人対象）				◆日本語教室（技能実習生対象）				年度	学習者数	出身国数	開講回数	年度	学習者数	出身国数	開講回数	H29	30人	9カ国	39回	H29	21人	1カ国	22回	H30	42人	15カ国	37回	H30	38人	3カ国	23回	R1	45人	16カ国	33回	R1	40人	4カ国	24回	R2	16人	11カ国	25回	R2	29人	4カ国	19回
◆日本語教室（一般外国人対象）				◆日本語教室（技能実習生対象）																																																				
年度	学習者数	出身国数	開講回数	年度	学習者数	出身国数	開講回数																																																	
H29	30人	9カ国	39回	H29	21人	1カ国	22回																																																	
H30	42人	15カ国	37回	H30	38人	3カ国	23回																																																	
R1	45人	16カ国	33回	R1	40人	4カ国	24回																																																	
R2	16人	11カ国	25回	R2	29人	4カ国	19回																																																	
成果に係る評価	<p>じゃばNeeds（にーず）塾や日本語教室は、多くの外国人住民にとって、言語や文化について学べる貴重な機会であるとともに、家族や仕事関係者以外の人々と交流が持てる場でもあり、参加を心待ちにしている外国人も多い。また、日本人住民にとっても、異文化が体験できる貴重な機会となっている。</p> <p>よって、今後においても、外国人住民が本市での生活に溶け込み地域の一員として生活できるよう、そして、日本人住民の外国人に対する認識向上のためにも、学びの場、交流の場の提供は不可欠であると考えことから多文化共生社会推進のため、事業を継続していく必要がある。</p>																																																							
(単位：円)																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	700,000	500,000				500,000																																																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																	
	1 項	総務管理費		第6節	日常の身近な安全性を高める		()																																																	
	14 目	交通安全対策費		(1)	交通事故の発生を防止する		()																																																	
実施計画掲載ページ		P107	中 事業	交通安全対策費																																																				
事業コード	004-006-001-00002	事業名	交通安全推進事業																																																					
目的及び事業内容	<p>歩行者・運転者等へ交通安全意識の高揚を図り、交通安全運動の励行や飲酒運転の根絶を目指し、交通事故の撲滅を図る。</p> <p>広く市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるために警察機関、交通安全指導隊、交通安全母の会等の関係団体と連携し、各種行事等の開催やパトロール活動、周知活動、広報活動を推進し交通事故防止に寄与する。</p>																																																							
取組実績	<p>1 各種交通安全運動として下記の事業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月上旬</td> <td>新入生児童に対する交通事故防止活動</td> <td>ランドセルカバー、黄色い帽子の配布</td> </tr> <tr> <td>5/6～5/15</td> <td>春の交通安全運動</td> <td>交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 ※交通安全指導隊等による街頭指導は中止</td> </tr> <tr> <td>7/21～8/20</td> <td>夏の交通事故防止運動</td> <td>市報掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>9/21～9/30</td> <td>秋の交通安全運動</td> <td>交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導隊等による街頭指導</td> </tr> <tr> <td>10/1～1/31</td> <td>夕暮れ時の交通事故防止運動</td> <td>市報掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>12/1～2/29</td> <td>冬の安全運転1・2・3運動</td> <td>市報掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>12/1～12/31</td> <td>年末の交通事故防止運動</td> <td>交通安全指導隊等による街頭指導</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 飲酒運転根絶活動として下記の事業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/6～4/15</td> <td>春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動</td> <td>市報・市ホームページ掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>9/21～9/30</td> <td>秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動</td> <td>市報・市ホームページ掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>12/4～12/31</td> <td>飲酒運転根絶広報</td> <td>市役所2階電子掲示板による広報</td> </tr> <tr> <td>12/13</td> <td>年末の飲酒運転根絶キャンペーン</td> <td>市内2店舗で啓発活動</td> </tr> <tr> <td>12月下旬</td> <td>飲酒運転根絶啓発チラシの作成配布</td> <td>全戸配布による周知活動</td> </tr> <tr> <td>2/22</td> <td>飲酒運転根絶広報</td> <td>新聞掲載</td> </tr> <tr> <td>3/21</td> <td>飲酒運転根絶広報</td> <td>新聞掲載</td> </tr> </tbody> </table>								日程	事業名	事業内容	4月上旬	新入生児童に対する交通事故防止活動	ランドセルカバー、黄色い帽子の配布	5/6～5/15	春の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 ※交通安全指導隊等による街頭指導は中止	7/21～8/20	夏の交通事故防止運動	市報掲載による広報	9/21～9/30	秋の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導隊等による街頭指導	10/1～1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動	市報掲載による広報	12/1～2/29	冬の安全運転1・2・3運動	市報掲載による広報	12/1～12/31	年末の交通事故防止運動	交通安全指導隊等による街頭指導	日程	事業名	事業内容	4/6～4/15	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報	9/21～9/30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報	12/4～12/31	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報	12/13	年末の飲酒運転根絶キャンペーン	市内2店舗で啓発活動	12月下旬	飲酒運転根絶啓発チラシの作成配布	全戸配布による周知活動	2/22	飲酒運転根絶広報	新聞掲載	3/21	飲酒運転根絶広報	新聞掲載
	日程	事業名	事業内容																																																					
	4月上旬	新入生児童に対する交通事故防止活動	ランドセルカバー、黄色い帽子の配布																																																					
5/6～5/15	春の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 ※交通安全指導隊等による街頭指導は中止																																																						
7/21～8/20	夏の交通事故防止運動	市報掲載による広報																																																						
9/21～9/30	秋の交通安全運動	交通安全キャンペーンの実施 広報車による広報活動 交通安全指導隊等による街頭指導																																																						
10/1～1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動	市報掲載による広報																																																						
12/1～2/29	冬の安全運転1・2・3運動	市報掲載による広報																																																						
12/1～12/31	年末の交通事故防止運動	交通安全指導隊等による街頭指導																																																						
日程	事業名	事業内容																																																						
4/6～4/15	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報																																																						
9/21～9/30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	市報・市ホームページ掲載による広報																																																						
12/4～12/31	飲酒運転根絶広報	市役所2階電子掲示板による広報																																																						
12/13	年末の飲酒運転根絶キャンペーン	市内2店舗で啓発活動																																																						
12月下旬	飲酒運転根絶啓発チラシの作成配布	全戸配布による周知活動																																																						
2/22	飲酒運転根絶広報	新聞掲載																																																						
3/21	飲酒運転根絶広報	新聞掲載																																																						
成果	<p>春季及び秋季の交通安全運動など、石巻市交通安全都市推進協議会等の関係機関・団体との連携により、交通事故防止や飲酒運転根絶、交通安全意識の高揚が図られた。また、各種広報活動により安全安心な交通社会への実現に寄与した。</p>																																																							
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で各イベントが中止になる中、感染症対策を図りながら交通安全指導隊による街頭指導33回、学校等での交通安全教室14回を開催し、交通安全意識の高揚を図った。</p> <p>交通事故は年々減少傾向にあるが、令和2年は歩行者、自転車、高齢者の死傷者割合が県平均を上回った。また、飲酒運転根絶に向けた活動により、令和2年は前年より飲酒運転事故が3件減少したが根絶には至っておらず（1件発生）、交通事故防止及び飲酒運転根絶の達成に向け、引き続き啓発活動を重点に推進していく必要がある。</p>																																																							
(単位：円)																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	3,300,000	3,300,000	500,000			2,800,000																																																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																																
	25 目	諸費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()																																
実施計画掲載ページ		P 36	中 事 業	非核平和都市推進費																																			
事業コード		002-003-001-00022	事 業 名	非核平和推進人材育成事業																																			
目的及び事業内容		市の将来を担う中学生を対象として、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実と平和の尊さを学ぶことを目的に、広島市が主催する平和記念式典への参列などを行う中学生派遣事業及び市内中学校における原爆被爆者を講師とした被爆体験者講話を実施し、恒久平和に貢献する人材の育成を図る。																																					
取組実績		<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業を中止した。</p> <p>【参考】例年の実施内容</p> <p>1 平和記念式典等への中学生派遣事業 日 時：8月5日～7日 研 修 先：広島市 対 象 者：市内各中学校から1名（計18名） 研修内容：平和記念式典への参列、被爆体験者講話の聴講、平和記念資料館の見学 等</p> <p>2 被爆体験者講話 市内1中学校を会場として被爆体験者を講師として招き、自身の被爆体験、平和への思いを講話いただく。</p>																																					
成 果		<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業を中止した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="3">平和記念式典等への中学生派遣事業</th> <th colspan="2">被爆体験者講話</th> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標：研修参加人数</th> <th rowspan="2">達成率等</th> <th rowspan="2">講話参加人数</th> <th rowspan="2">実施校</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>11人</td> <td>11人</td> <td>100%</td> <td>91人</td> <td>青葉中学校 2年生</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>9人</td> <td>9人</td> <td>100%</td> <td>190人</td> <td>万石浦中学校 全学年</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td colspan="5">新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止</td> </tr> </tbody> </table>							区分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話		成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校	目標値	実績値	H30	11人	11人	100%	91人	青葉中学校 2年生	R 1	9人	9人	100%	190人	万石浦中学校 全学年	R 2	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止				
区分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話																																			
	成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校																																		
	目標値	実績値																																					
H30	11人	11人	100%	91人	青葉中学校 2年生																																		
R 1	9人	9人	100%	190人	万石浦中学校 全学年																																		
R 2	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止																																						
成果に係る評価		<p>令和2年度は中止となったものの、これまで広島平和記念式典に参加した中学生は、式典への参列や平和記念資料館の見学を通して、改めて平和の尊さを学び、文化祭等で、研修内容や実際に見て感じた戦争の悲惨さ、平和に対する思いなどを発表し、家族や友人のみならず広く市民に対して啓発活動を行っている。</p> <p>また、被爆体験者による講話は、戦争の真の恐ろしさ、二度と戦争を起こしてはならないという平和への心からの思いに触れることのできる貴重な機会となっており、私生活ではあまり意識することのない戦争や平和を自身に関係のあることとして認識し直すきっかけとなっている。</p> <p>非核平和の啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成及び戦争の悲惨さを後世へと伝えるためにも、式典の開催状況や新型コロナウイルス感染症の収束状況を注視しながら、本事業を実施する必要がある。</p>																																					
予算の執行状況		(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	202,000	61,980				61,980																																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																			
	1 項	総務管理費		第 6 節	日常の身近な安全性を高める		()																																			
	25 目	諸費		(3)	安全・安心な暮らしを確保する		()																																			
実施計画掲載ページ		P 109	中 事 業	防犯関係費																																						
事業コード		004-006-003-01361	事 業 名	防犯灯普及事業																																						
目的及び事業内容		町内会等で維持管理を行っている防犯灯のLED化を促進するため、新規設置費、交換費及び電気料金に対して補助金を交付することにより町内会等の負担を軽減し、地域における防犯活動の推進を図る。																																								
取組実績		<p>「石巻市防犯灯維持管理等補助金交付要綱」に基づき、町内会等が維持管理運営する防犯灯の経費に対して補助を行った。</p> <p>※令和2年1月1日に要綱の一部を改正（補助限度額、交付要件、添付書類内容の変更等）</p> <p>補助金交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>補助金種別</th> <th>交付件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R1</td> <td>防犯灯新規設置費補助金</td> <td>29件</td> <td>5,120,000 円</td> </tr> <tr> <td>防犯灯交換費補助金</td> <td>72件</td> <td>15,735,000 円</td> </tr> <tr> <td>防犯灯電気料金補助金</td> <td>117件</td> <td>2,888,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>218件</td> <td>23,743,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R2</td> <td>防犯灯新規設置費補助金</td> <td>6件</td> <td>575,000 円</td> </tr> <tr> <td>防犯灯交換費補助金</td> <td>32件</td> <td>5,813,000 円</td> </tr> <tr> <td>防犯灯電気料金補助金</td> <td>117件</td> <td>2,952,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>155件</td> <td>9,340,000 円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	補助金種別	交付件数	補助金額	R1	防犯灯新規設置費補助金	29件	5,120,000 円	防犯灯交換費補助金	72件	15,735,000 円	防犯灯電気料金補助金	117件	2,888,000 円		合計	218件	23,743,000 円	R2	防犯灯新規設置費補助金	6件	575,000 円	防犯灯交換費補助金	32件	5,813,000 円	防犯灯電気料金補助金	117件	2,952,000 円		合計	155件	9,340,000 円		
区分	補助金種別	交付件数	補助金額																																							
R1	防犯灯新規設置費補助金	29件	5,120,000 円																																							
	防犯灯交換費補助金	72件	15,735,000 円																																							
	防犯灯電気料金補助金	117件	2,888,000 円																																							
	合計	218件	23,743,000 円																																							
R2	防犯灯新規設置費補助金	6件	575,000 円																																							
	防犯灯交換費補助金	32件	5,813,000 円																																							
	防犯灯電気料金補助金	117件	2,952,000 円																																							
	合計	155件	9,340,000 円																																							
成 果		<p>町内会等の負担軽減と夜間における安全性の確保、犯罪防止に寄与し、地域住民の安全と安心の向上が図られた。</p> <p>補助金交付対象灯数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">補助金種別</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R1</td> <td>防犯灯新規設置費補助金</td> <td>—</td> <td>90灯</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防犯灯交換費補助金</td> <td>635灯</td> <td>643灯</td> <td>101.3%</td> </tr> <tr> <td>防犯灯電気料金補助金</td> <td>—</td> <td>1,700灯</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>防犯灯新規設置費補助金</td> <td>—</td> <td>9灯</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防犯灯交換費補助金</td> <td>632灯</td> <td>165灯</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防犯灯電気料金補助金</td> <td>—</td> <td>2,029灯</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>							区分	補助金種別	成果指標		達成率	目標値	実績等	R1	防犯灯新規設置費補助金	—	90灯	—	防犯灯交換費補助金	635灯	643灯	101.3%	防犯灯電気料金補助金	—	1,700灯	—	R2	防犯灯新規設置費補助金	—	9灯	—	防犯灯交換費補助金	632灯	165灯	26%		防犯灯電気料金補助金	—	2,029灯	—
区分	補助金種別	成果指標		達成率																																						
		目標値	実績等																																							
R1	防犯灯新規設置費補助金	—	90灯	—																																						
	防犯灯交換費補助金	635灯	643灯	101.3%																																						
	防犯灯電気料金補助金	—	1,700灯	—																																						
R2	防犯灯新規設置費補助金	—	9灯	—																																						
	防犯灯交換費補助金	632灯	165灯	26%																																						
	防犯灯電気料金補助金	—	2,029灯	—																																						
成果に係る評価		<p>地域における防犯活動の推進を図るため、防犯灯LED化促進策として防犯灯交換費補助金を令和元年度は643灯分、令和2年度は165灯分交付した。令和2年度の交換費補助金申請件数は前年度と比較すると減少しており、未申請町内会等へのさらなる周知が必要である。</p> <p>今後も、町内会等で維持管理を行っている防犯灯（蛍光灯残2,366灯）についてLED化を促進するため、事業を継続する必要がある。また、新規設置費補助金及び電気料金補助金についても、町内会等の負担軽減策として、防犯灯LED化と併せて事業を継続する必要がある。</p>																																								
予算の執行状況		(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	17,000,000	9,340,000				9,340,000																																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																	
	1 項	総務管理費				(1)	新たな防災体制の構築																	
	26 目	東日本大震災関係費				(4)	震災記録の継承																	
実施計画掲載ページ		P160	中 事 業		震災遺構整備事業関係費																			
事業コード		001-104-002-01304	事 業 名		震災遺構整備事業〔復興交付金〕																			
目的及び事業内容		東日本大震災による深い傷跡、悲しみの記憶及び震災を通じて得た記憶を風化させることなく後世に伝えるため、旧門脇小学校及び旧大川小学校を震災遺構として整備する。																						
取 組 実 績		<p>平成29年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル選定委員会を設置し、基本設計の委託事業者を設定（旧門脇小・旧大川小） <p>平成30年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計業務完了（旧門脇小・旧大川小） <p>令和元年度実績</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 震災遺構門脇小学校整備 <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務完了：令和2年3月 ・本校舎解体その他工事完了：令和2年3月 ・展示工事着手 2 震災遺構大川小学校整備 <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務完了：令和2年3月 ・外構工事着手 <p>令和2年度実績</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 震災遺構門脇小学校整備 <ul style="list-style-type: none"> ・整備工事着手（建築・電気設備・機械設備・外構一括発注） ・展示工事 2 震災遺構大川小学校整備 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事完了：令和3年3月 ・電気設備工事完了：令和3年3月 ・機械設備工事完了：令和3年3月 ・展示業務着手 ・外構工事 																						
成 果		<p>震災遺構整備方針に基づき、事業の進捗を図った。</p> <p>【事業の進捗】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">事業の進捗率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>10.0%</td> <td>2.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>30.0%</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>70.0%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>100.0%</td> <td>70.0%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	事業の進捗率		目標値	実績等	H29	10.0%	2.0%	H30	30.0%	15.0%	R1	70.0%	50.0%	R2	100.0%	70.0%
区分	事業の進捗率																							
	目標値	実績等																						
H29	10.0%	2.0%																						
H30	30.0%	15.0%																						
R1	70.0%	50.0%																						
R2	100.0%	70.0%																						
成果に係る評価		<ol style="list-style-type: none"> 1 震災遺構門脇小学校 整備工事において地下埋設物等が発見されたことにより増工となり、令和3年度へ工期延長。 各種震災遺構整備工事が同期間に重複することから、関係者との協議を十分に行い、令和3年度中の完成に向け事業の進捗を図る必要がある。 2 震災遺構大川小学校 関係者からの要望等に対応するため、一部の工事等が令和3年度へ工期延長。 各種震災遺構整備工事と関係者との協議を十分に行い、令和3年度中の完成に向け事業の進捗を図る必要がある。 																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	530,982,520	501,740,250			400,871,000	100,869,250																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																		
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																		
	26 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援																		
実施計画掲載ページ		P182	中 事 業		震災広報関係費																				
事業コード		002-101-003-00357	事 業 名		市報復興情報発行事業〔復興基金〕																				
目的及び事業内容		東日本大震災による復旧・復興事業の様々な情報を迅速に発信するため、毎月市報1日号への掲載及び復興特集号を発行する。																							
取 組 実 績		<p>復旧・復興関連情報を市報1日号に毎月掲載し、10月及び3月に復興特集号を発行した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「市報いしのみまき」復興情報掲載 <ul style="list-style-type: none"> (1) 発行：12回（毎月1日発行） (2) 部数：毎月63,000部 (3) 紙面：全16ページ中4ページ (4) 主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・災害復興住宅融資無料相談会 ・住まいの復興給付金申請相談会 ・住宅再建補助金の相談 ・被災者生活再建支援制度の手続き ・復興特区による税制優遇制度 ・復興工事による市道の通行止め情報 2 「市報いしのみまき」復興特集号発行事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 発行：2回（10月15日、3月15日発行） (2) 部数：各63,000部 (3) 紙面：全8ページ (4) 主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・半島沿岸部拠点エリア始動 ・新内海橋開通 ・マルホンまきあーとテラス（石巻市複合文化施設）開館 ・石巻南浜津波復興祈念公園開園 ・自然災害への備え ・復興、復旧10年間の歩み 																							
成 果		<p>復興に関わる情報を発信する目的の下、多くの震災復興関連の情報や将来のまちの姿などをイメージ図や現況写真等を使用し、復興の状況や復興関連情報を分かりやすく的確に伝えることができた。また、減災への第一歩となるよう、いざという時のための災害への備えなどの取り組みを継続して紹介し、防災意識の高揚を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標【広報紙閱讀割合】</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>85.0%</td> <td>82.5%</td> <td>97.1%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>85.0%</td> <td>81.2%</td> <td>95.5%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>85.0%</td> <td>80.9%</td> <td>95.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績値は市民意識調査結果によるもの。市報に関する調査は隔年実施。</p>						区分	成果指標【広報紙閱讀割合】		達成率	目標値	実績値	H28	85.0%	82.5%	97.1%	H30	85.0%	81.2%	95.5%	R2	85.0%	80.9%	95.2%
区分	成果指標【広報紙閱讀割合】		達成率																						
	目標値	実績値																							
H28	85.0%	82.5%	97.1%																						
H30	85.0%	81.2%	95.5%																						
R2	85.0%	80.9%	95.2%																						
成果に係る評価		震災復興基本計画に定める最終年度として、これまで整備を進めてきた主要施設が完成していく様子を発信することにより、本市の復興が完結に向かっていく状況を伝えることができた。																							
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	6,820,000	6,820,000			6,820,000																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(3)	減災まちづくりの推進
	26 目	東日本大震災関係費				(3)	新エネルギー等の活用
実施計画掲載ページ		P177	中 事 業	スマートコミュニティ推進事業費			
事業コード		001-303-001-00946	事 業 名	スマートコミュニティ推進事業			
目的及び事業内容		<p>震災復興基本計画重点プロジェクトの1つとして「災害に強く環境にやさしいまちづくり」の実現を図るため、再生可能エネルギーやICTを活用したスマートコミュニティ推進事業に取り組んでいる。事業内容は、有事の際に避難所となる公共施設に導入された太陽光発電設備、蓄電池をエネルギー管理システムで総合管理し、地域のエネルギー情報を見える化し有効活用を図るとともに、次代を担う子どもたちへの環境意識の醸成と防災意識の向上を図る。</p>					
取組実績		<p>1 環境負荷軽減及び防災機能強化の取り組み (1) 平時は環境にやさしい移動手段として、有事では移動可能な非常用電源の供給といった防災機能強化を図るため、みやぎ環境交付金を活用し公用電気自動車を導入（雄勝総合支所へ配備） 2 スクールデマンドレスポンス（スクールDR）の取り組み (1) 令和元年度は別期ごとに実施したが、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、開催回数を3回から1回に削減して実施 令和元年度で実施したモデル校からサイネージの不具合による3校を除き、1週間程度の実施期間による取り組みを27校で実施 ア スクールDR参加校 ⇒ 避難所となる小・中・高校計27校 ※サイネージの不具合により、向陽小、万石浦小、蛇田中が対象外 イ 実施日程 ⇒ R2.9.7～R2.9.18 ウ 実施期間 ⇒ 連続した5日間 (2) 収集した情報の分析結果をもとに、再生可能エネルギーの有効活用の実証運用を検討</p>					
成 果		<p>1 令和2年度においては、スクールDRの対象校を27校として、エネルギーの見える化の仕組みを活用した環境負荷軽減の取り組みを実施し、各学校ごとの節電行動により大きな節電効果が得られていた。また、エネルギー情報の分析を継続することで、再生可能エネルギーの有効活用と有事の際の避難所運営に効果的な運用手法の検討を共同事業者とともに進め、将来の実証運用を踏まえた環境整備が図られた。 2 令和2年度では、令和元年度同様みやぎ環境交付金を活用して、雄勝総合支所に電気自動車（公用車）を配備し、環境負荷軽減と有事における移動可能な非常用電源の供給を可能とする等地域内における防災機能の強化が図られた。</p>					
成果に係る評価		<p>これまで整備してきた環境を活用したスクールDRの取り組みでは、再生可能エネルギーの発電状況や蓄電池の状況等を把握しながら、各学校ごとの節電方針に則り行動し、節電行動による効果を実感することで、震災の教訓を踏まえた環境意識の醸成に繋がっている。本事業は、補助事業の運用期間終了に伴っての共同事業者の既存サービス終了に伴い、現状取り組んでいる電力情報の収集管理及びそれに伴う見える化は令和2年度末で終了となり、今後は、指定避難所が機能する上で重要となる再生可能エネルギーの活用について、その稼働状態が良好であるか否かを常に把握する仕組みの構築が必要である。 また、みやぎ環境交付金を活用した各地域への公用電気自動車の配備については、地域における環境負荷軽減及び、電気自動車に搭載の蓄電池を活用した広範囲の防災機能強化を図ることができている。</p>					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,541,000	6,133,169	2,633,749			3,499,420	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(2)	地域の方でみんなを守る
	26 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ		P162	中 事 業	地域自治システム関係費			
事業コード		001-201-005-00310	事 業 名	地域自治システム構築支援事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		<p>地域の特徴を生かした地域住民自身の意思に基づくまちづくりや住民自治の確立を目指し、市民と行政による協働のまちづくりを推進するため地域自治システムの構築を進める。 震災により甚大な被害を受け地域コミュニティが崩壊した中で、地域自治システムの構築を進めるには難しい地域もあるが、地域の実情を考慮しながら、市内全域での住民自治組織設立に向け、支援を行うもの。</p>					
取組実績		<p>地域の創意と工夫、判断と責任を尊重し、市民と行政の協働による魅力あるまちづくりを推進するとともに、住民自治組織の円滑な運営と個性あふれる地域づくりを支援するため、石巻市住民自治組織交付金を交付した。 また、地域自治システムアドバイザーを配置するとともに、その地域での活動実績のあるNPO等の団体による地域自治システムサポート事業を実施することで、住民自治組織設立に向けて意識の醸成が図られた。 さらに、地域自治システム構築の推進のため、地域自治システムアドバイザー、サポート事業委託業者及び市の3者によって、具体的な地域の実情や他自治体の住民自治組織の活動事例を基に意見交換会を行った。 【事業別実績】 1 住民自治組織交付金 (1) 山下地区 山下地区協働のまちづくり協議会 交付額： 389,810円 (2) 河南地区 河南地域住民自治協議会 交付額：2,109,772円 (3) 桃生地区 ものう夢ネットワーク 交付額： 953,398円 (計3,452,980円) 2 地域自治システムアドバイザーの配置 2名 3 地域自治システム構築に向けた意見交換会 参加者 地域自治システムアドバイザー1名・支援団体13名（7団体）、市職員4名 4 地域自治システムサポート事業 (1) 住吉地区・・・事業説明、町内会長及び若手事業者ヒアリング、先進事例の勉強会等を実施 (2) 湊地区・・・町内会長及び各種団体へのヒアリング、会議、ワークショップ等を実施 (3) 稲井地区・・・準備組織の組成に係る会議の運営支援等を実施 (4) 茨浜地区・・・区長及び各種団体への事業説明及びヒアリング等を実施 (5) 北上地区・・・運営に係る会議等の開催支援、広報誌の発行等を実施</p>					
成 果		<p>山下・河南・桃生の各地区においては、独自の事業活動を展開することで地域課題に対応した取組が推進された。 地域自治システムサポート事業により住民自治組織設立に向けた支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により住民への訪問や集会在困難となり、事業の変更や中止を余儀なくされたことから、住民自治組織の新規設立には至らなかったが、自治会役員等の意識醸成を図った。</p>					
成果に係る評価		<p>地域自治システムの構築を目指している16地区のうち、設立が4地区にとどまっている要因として、地域の課題を地域住民が自ら解決することを目指し、かつ、継続的な活動ができる組織とするため、住民主体の地域づくりに向けた意識の醸成を図ることに時間を要してきたことが挙げられる。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、集会等の事業実施が困難となり、地区全体での意識醸成や組織構築の推進が十分に図られなかった。 今後も住民主体の地域自治の必要性があるため、感染防止対策を実施した上で、地域に対する働きかけの手法を検討し、住民自治組織の早期設立を目指して取り組んでいく。</p>					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	19,548,000	12,905,971	148,000			12,757,971	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																										
	1 項	総務管理費				(2)	地域のでみんなで守る																																																										
	26 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援																																																										
実施計画掲載ページ		P161	中 事 業		地域コミュニティ再生関係費																																																												
事業コード		001-201-003-00305	事 業 名		コミュニティ形成支援補助事業〔復興基金〕																																																												
目的及び事業内容		震災の影響で自治会等による祭りなどのイベント開催が自粛され、住民同士の交流の場が少なくなっていることから、住民主体で開催する交流事業などに補助を行い、自治会等の活動やコミュニティの形成促進を図るもの。																																																															
取 組 実 績		自治会等が主体となり実施した交流イベント等に対し助成を行った。 コミュニティ形成支援補助金 (1) 対象事業 住民主体による地域づくりやコミュニケーションづくりを推進するための事業 (2) 申請上限 1団体につき年1回までとし、上限10万円 (3) 事業内容 地域交流会、清掃活動、秋まつり、敬老行事等																																																															
成 果		コミュニティ形成支援事業の実施により、自治会等を主体とした住民同士の交流活動が行われ、コミュニティの促進が図られているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による自治会等でのイベント開催の自粛などにより、交付件数は例年よりも大きく減少となった。																																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地区名</th> <th colspan="4">補助金交付件数 (単位：件)</th> <th rowspan="2">R2 補助金交付額</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻</td> <td>95</td> <td>102</td> <td>94</td> <td>29</td> <td>2,163,923円</td> </tr> <tr> <td>河北</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>1</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>雄勝</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>59,038円</td> </tr> <tr> <td>河南</td> <td>32</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>7</td> <td>456,174円</td> </tr> <tr> <td>桃生</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>276,776円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>164</td> <td>168</td> <td>162</td> <td>41</td> <td>3,055,911円</td> </tr> </tbody> </table>						地区名	補助金交付件数 (単位：件)				R2 補助金交付額	H29	H30	R1	R2	石巻	95	102	94	29	2,163,923円	河北	14	17	17	1	100,000円	雄勝	6	4	1	1	59,038円	河南	32	31	31	7	456,174円	桃生	10	7	9	0	0円	北上	3	3	6	3	276,776円	牡鹿	4	4	4	0	0円	計	164	168	162	41	3,055,911円
地区名	補助金交付件数 (単位：件)				R2 補助金交付額																																																												
	H29	H30	R1	R2																																																													
石巻	95	102	94	29	2,163,923円																																																												
河北	14	17	17	1	100,000円																																																												
雄勝	6	4	1	1	59,038円																																																												
河南	32	31	31	7	456,174円																																																												
桃生	10	7	9	0	0円																																																												
北上	3	3	6	3	276,776円																																																												
牡鹿	4	4	4	0	0円																																																												
計	164	168	162	41	3,055,911円																																																												
成果に係る評価		コミュニティ形成支援補助金の活用により、自治会等の機能強化や地域コミュニティの活性化が図られてきた。しかしながら、本事業が震災後のコミュニティ形成を目的としており、震災から10年が経過したことから、今後の在り方について検討する必要がある。																																																															
(単位：円)																																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
	5,232,000	3,055,911			3,055,911																																																												

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(2)	地域のでみんなで守る
	26 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ		P160	中 事 業		地域コミュニティ再生関係費		
事業コード		001-201-002-00929	事 業 名		地域づくりコーディネート事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		住民自治組織の推薦を受けたNPO等の市民公益活動団体が、自治会の機能強化や、自治会が行う地域活性化に向けた活動等を支援する事業に対し、補助金を交付するもの。					
取 組 実 績		1団体より申請があり、一次審査及び二次審査（審査会）による審査の結果、補助金を交付した。 1 採択団体 一般社団法人石巻じちれん 2 事業名 蛇田地区自治連携強化促進と住民活動再活性化事業 3 補助額 2,000,000円					
成 果		新市街地における新設自治会間の意見交換・交流機会が創出されたことで、各自治会における円滑な自治会運営に寄与したほか、当該区域におけるNPO等活動団体の情報共有をする場が設置されたことで、サポート体制構築につながった。					
成果に係る評価		コロナ禍においても、複数自治会での活動が行われるなど、より広域的な活動につながったほか、自治会の機能強化や、地域活性化に向けた活動を支援することができた。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,000,000	2,000,000			2,000,000		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域のでみんので守る
	26 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P161		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費			
事業コード	001-201-003-01261	事業名	(仮称)大川地区地域交流センター整備事業 〔復興交付金〕〔復興基金〕				
目的及び事業内容	地域コミュニティの再生・強化のため、大川地区の新たな広域拠点として地域の交流の場を確保するとともに、震災によって失われたスポーツ振興施設としても活用できる多目的ホールを備えたコミュニティ施設を整備する。						
取組実績	1 大川コミュニティセンターの概要 (1) 敷 地：1,402.22㎡ (2) 構 造：木造平屋建屋根ガルバリウム鋼板葺き 延べ床面積597.69㎡ (3) 駐車場：45台（うち障害者用駐車場2台）						
	2 事業実績						
	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	① 用地購入及び工作物移転等完了	① 実施設計完了	① 建設工事等完了				
	② 地質調査（ボーリング調査）完了	② 建設工事等発注	② 工事監理業務完了				
	③ 基本設計完了	③ 支障木伐採業務等完了	③ 施設用備品購入完了				
			④ 駐車場整備工事発注				
成 果	令和3年4月1日からの供用開始に向け、令和元年度に着工した建設工事及び各設備工事、施設用備品の整備が完了した。						
成果に係る評価	大川コミュニティセンターの建設工事が令和3年1月に完了し、大川地区住民や元住民の交流の場として活用するほか、祭事やスポーツ振興の拠点として、地域コミュニティの再生及び活性化に寄与する施設を整備することができた。 また、地域住民組織が指定管理することにより、有効かつ効率的な運営管理が図られ、地域の活性化が期待できる環境を整えられた。 なお、令和3年度は、駐車場整備工事の完了を目指し事業を進める。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	181,659,420	162,008,750			109,516,650	52,492,100	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域のでみんので守る
	26 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P162		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費			
事業コード	001-201-005-00678	事業名	復興応援隊設置事業				
目的及び事業内容	被災地の自治機能回復と持続可能な地域コミュニティの構築を長期的視野に入れ、マンパワー不足の解消と地域の将来を担う人材の育成を行い、被災地の地域づくりを目的とした住民主体の地域活動を促進するため、一定期間、地域住民の活動を支援する。						
取組実績	令和2年度復興応援隊設置事業委託契約額等						
	地区	隊員数	契約額	内容			
中央	3人	12,991,000円	・石巻南浜津波復興祈念公園「参加型維持管理運営」検討協議会や地域団体等の調整 ・人材の育成と市民団体の連携構築 ほか				
雄勝	3人	12,958,000円	・「月刊おがつ」の発行 ・交流スペースや地区集会所等を活用した住民協働支援 ・地域おこしイベント等による地域PR活動 ほか				
北上	3人	10,659,000円	・自治会及び各種自治会組織支援 ・地域行事及び復興イベント等の開催支援 ・北上地域における復興経緯の情報発信 ほか				
計		36,608,000円					
成 果	地区	成 果					
中央	南浜つなぐ館・・・開館209回、1,496件（延べ5,049人）への語り部対応 震災伝承プログラムの実施・・・75件 「あの時プロジェクト」の実施・・・聞き取り協力者2名 ほか						
雄勝	地域コミュニティ紙「月刊おがつ」の発行・・・11回 交流スペース等を活用した地域コミュニティ再生プロジェクト・・・2回 仮設商店街や支援団体との復興イベント・・・16回 ほか						
北上	自治会等に対するワークショップ開催支援・・・3組織（計6回） 地域行事及び復興イベント等の開催支援・・・3行事 地域コミュニティ紙「北上かわらばん」発行・・・7回 ほか						
成果に係る評価	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を集めたイベント等の開催に困難を要した。 現状では、地域づくりを目的とした活動について、住民主体で行うことは難しく、引き続き復興応援隊の支援が必要であり、事業を継続する必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	37,048,000	36,608,000				36,608,000	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																													
	1 項	総務管理費		第 節			()																													
	26 目	東日本大震災関係費		()			()																													
実施計画掲載ページ			中 事 業	慰霊碑整備事業費																																
事業コード			事 業 名	慰霊碑整備事業〔復興基金〕																																
目的及び事業内容		東日本大震災で犠牲となった方々を追悼するため、慰霊碑を建立する。																																		
取 組 実 績		<p>平成29年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル選定委員会を設置し、北上地区・雄勝地区の委託事業者を選定 ・北上地区慰霊碑完成 平成30年3月 ・雄勝地区慰霊碑等設置業務は平成30年度に繰越 <p>平成30年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル選定委員会を設置し、牡鹿地区の委託事業者を選定 ・雄勝地区慰霊碑完成 平成31年3月 ・牡鹿地区慰霊碑完成 平成31年3月 <p>令和元年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南浜津波復興祈念公園整備に係る関係機関と調整し、設置箇所を選定 ・プロポーザル選定委員会を設置し、本庁地区慰霊碑等設置業務の委託事業者を選定 ・本庁地区慰霊碑等設置業務は令和2年度に繰越 <p>令和2年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁地区慰霊碑完成 令和3年3月 																																		
成 果		<p>本庁地区慰霊碑設置へ向け、事業の進捗が図られた。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="2">実績（完成地区名）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>2地区</td> <td>1地区</td> <td>北上地区 ※雄勝地区繰越</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2地区</td> <td>2地区</td> <td>雄勝地区 牡鹿地区</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1地区</td> <td>0地区</td> <td>※本庁地区繰越 ※事業者の選定完了</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1地区</td> <td>1地区</td> <td>本庁地区</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標			達成率	目標値	実績（完成地区名）		H29	2地区	1地区	北上地区 ※雄勝地区繰越	50.0%	H30	2地区	2地区	雄勝地区 牡鹿地区	100.0%	R1	1地区	0地区	※本庁地区繰越 ※事業者の選定完了	50.0%	R2	1地区	1地区	本庁地区	100.0%
区分	成果指標			達成率																																
	目標値	実績（完成地区名）																																		
H29	2地区	1地区	北上地区 ※雄勝地区繰越	50.0%																																
H30	2地区	2地区	雄勝地区 牡鹿地区	100.0%																																
R1	1地区	0地区	※本庁地区繰越 ※事業者の選定完了	50.0%																																
R2	1地区	1地区	本庁地区	100.0%																																
成果に係る評価		すべての慰霊碑が完成したことにより、追悼・鎮魂の場として多くの方々が訪れている。																																		
予算の執行状況		(単位：円)																																		
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
63,272,000	61,818,645			61,297,500	521,145																															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり														
	1 項	総務管理費		第 節			(1)	新たな防災体制の構築														
	26 目	東日本大震災関係費		()			(4)	震災記録の継承														
実施計画掲載ページ		P159	中 事 業	震災遺構整備事業関係費																		
事業コード		001-104-002-01202	事 業 名	震災伝承事業〔復興交付金〕																		
目的及び事業内容		東日本大震災からの復旧・復興の過程で作成されたさまざまな震災関連データ（以下「震災ナレッジデータ」という。）を活用した「震災の見える化」を図り、震災に対する正しい理解と未来のいのちを紡ぐ震災伝承活動を展開するため、オープンデータ事業とも連携した利活用促進のためのデータ整備と環境基盤の構築を実施し、震災伝承活動の有用性と伝承効果の向上を図る。																				
取 組 実 績		<p>震災ナレッジデータを活用した震災伝承の有用性の検証と利活用促進のための環境整備を実施した。</p> <p>1 震災ナレッジ環境整備業務</p> <p>(1) 震災ナレッジデータを活用した震災伝承の有用性の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部整備済みデータを活用した発災から1か月間の避難所運営と救援物資の因果関係の分析 <p>(2) 保有データの保管環境整備の継続実施と活用促進のためのデータ整備項目の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 将来のデータベース化を見据え、今後のデータ量を考慮した保管環境の整備を実施 イ 災害当時の状況が見える化（分析）する上で最低限整備すべき情報を検証 <p>※データ整備内容</p> <p>(1)登録されたメタデータ（本体データの付属情報）から、内閣府「復旧・復興ハンドブック」の分類手法を参考に種類、事業体系ごとに整理（前年度からの継続）</p> <p>(2)データ管理環境について、増大するデータ量に応じた環境を整備（分散管理⇒集中管理）</p>																				
成 果		<p>令和2年度においても、震災ナレッジ環境整備業務の実施により、本市しか持ち得ない貴重な震災ナレッジデータの整備が進み、幅広い震災伝承の取組みが可能となる環境整備が図られた。</p> <p>また、一部整備済みの震災ナレッジデータを活用し発災後約1か月における各避難所の運営状況（当時の被災者ニーズに対する救援物資の充足度合いや被災者の行動等）を可能な範囲で見える化（分析）を行い、当時の状況をより鮮明に振り返ることに繋がり将来の大規模災害に対する知見の蓄積と対応ノウハウの共有が図られた。</p> <p>【事業の進捗】</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">年度別達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>80% (40,000件)</td> <td>80% (40,000件)</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>100% (50,000件)</td> <td>100% (50,000件)</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		年度別達成率	目標値	実績等	R1	80% (40,000件)	80% (40,000件)	100%	R2	100% (50,000件)	100% (50,000件)	100%
区分	成果指標		年度別達成率																			
	目標値	実績等																				
R1	80% (40,000件)	80% (40,000件)	100%																			
R2	100% (50,000件)	100% (50,000件)	100%																			
成果に係る評価		震災ナレッジデータの利活用が促進されることで震災への正しい理解や伝承効果の向上が期待できること、更には、活用することで被災当時の状況を詳細に分析・検証できる効果等、大規模災害発生時に求められる冷静な判断と迅速な対応を単なる経験値に頼ることのない客観的な根拠に基づいたものとする上で必要不可欠である。																				
		震災当時の状況や復興過程等を正しく発信し理解につなげることは多くの支援をいただいた被災自治体としての責務であり、その責務を果たすためには保有する震災ナレッジデータの環境整備を今後も進め効果的な震災伝承活動につなげていく必要があるため、震災記録収集整備事業として継続していく。																				
予算の執行状況		(単位：円)																				
予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
10,000,000	9,904,400			7,923,000	1,981,400																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(1)	新たな防災体制の構築
	26 目	東日本大震災関係費				(4)	震災記録の継承
実施計画掲載ページ		P 159	中 事 業		震災広報関係費		
事業コード		001-104-001-00301	事 業 名		震災記録収集整理事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		震災の記録を保存し、復興への道のりをデジタルアーカイブ等として後世に伝え、今後の防災事業等の一助とする。					
取 組 実 績		<p>1 震災記録写真の整理・公開 「東日本大震災アーカイブ宮城」にて震災記録写真を公開した。</p> <p>2 震災関連資料のデジタル化 震災関連庁内文書のデジタル化（メタデータ化 5,500件）を行った。</p> <p>3 東日本大震災震災ナレッジ口述記録の収録 被災当時、市内に居住の6名の方々から、当時の状況等貴重な証言記録を収録した。</p>					
成 果		<p>震災に関する資料の劣化や紛失等を防ぐため、各課で保管している各種資料等をデジタル化したことで、資料の収集や整理を進めることができた。</p> <p>震災ナレッジ口述記録収録業務では、発災直後からの現場の状況や避難経路等、被災体験者の発災当時の行動から得られる教訓等を証言記録として収録し、被災体験者の視点から自然災害の恐ろしさや現実を正確に伝えるとともに、今後も起こりうる自然災害に対する防災意識の向上に繋がる伝承ツールとすることができた。</p> <p>また、「東日本大震災アーカイブ宮城」で震災当時の様子や活動がわかる写真を公開し、震災に関する記憶の風化防止に役立てることができた。</p>					
成果に係る評価		<p>震災関連の紙媒体資料をデジタル化することで、貴重な資料の劣化や紛失等を防ぐだけでなく、本市の指針に定めるオープンデータとして不特定多数のデータ利用者に活用機会を創出することで、データに基づく分析に繋がり震災の見える化と大規模な自然災害に対する対応の共有化が期待できるため、事業を継続する必要がある。</p> <p>また、震災ナレッジの口述記録については、発災直後の状況や被災体験者の行動を高度な編集技術で視聴者に訴えることで、震災を後世に伝え未来のいのちを紡ぐ震災伝承の重要な取組みであるため、事業を継続する必要がある。</p>					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	4,911,000	4,899,950			4,899,950		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す												
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保												
	26 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援												
実施計画掲載ページ		P 183	中 事 業		震災広報関係費														
事業コード		002-101-003-00535	事 業 名		全国避難者市報等郵送事業〔復興基金〕														
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し、石巻市外への避難を余儀なくされた市民へ行政情報や復興関連情報、生活再建情報を伝えるため、市報等を郵送する。																	
取 組 実 績		<p>震災により被災し、市外に転居している市民へ行政情報等を伝えるため、市報の発行に合わせ、毎月郵送を行った。</p> <p>1 全国避難者市報等郵送事業 (1) 郵送回数・・13回 (2) 郵 送 物・・市報、県政だより、議会だより、社協だより、広域広報いしのまき圏、広報広域すいどう、原子力だよりみやぎ (3) 郵送方法・・ゆうメール</p>																	
成 果		<p>市の広報紙を通じて行政情報や復興状況の情報を発信することは、被災者に対する安心に繋がる取り組みであり、市外で生活している市民へ市の現状や復興の進捗状況を知らせることができた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>郵送件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1,580件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,244件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>834件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>111件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>110件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 郵送件数は、1回あたりの平均件数である。</p>						年度	郵送件数	H28	1,580件	H29	1,244件	H30	834件	R1	111件	R2	110件
年度	郵送件数																		
H28	1,580件																		
H29	1,244件																		
H30	834件																		
R1	111件																		
R2	110件																		
成果に係る評価		<p>本事業は震災により被災し、市外への避難を余儀なくなされた市民に対し、行政情報、復興関連情報など必要な情報を迅速に提供するため実施してきた。</p> <p>復興公営住宅への入居など住宅再建の進捗に合わせ、郵送が不要となるケースが増え、郵送希望者が年々減少してきたことから、郵送者へ意向調査を実施し、事業継続の必要性について検討してきた。</p> <p>東日本大震災から10年を迎え、復興事業が一区切りとなり、本事業については事業開始当初の目的を達成したことから本年度をもって終了する。</p>																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	154,000	141,273			141,273														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																												
	1 項	総務管理費				(2)	地域の力でみんなで守る																												
	26 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援																												
実施計画掲載ページ	P160		中 事 業	東日本大震災犠牲者追悼式関係費																															
事業コード	001-201-001-00303		事 業 名	東日本大震災犠牲者追悼式〔復興基金〕																															
目的及び事業内容	東日本大震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、夢や希望の持てる新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、市主催の追悼式を開催するもの																																		
取組実績	<p>マルホンまきあーとテラスにおいて追悼式典を開催したほか、式典会場を含む市内7か所に祭壇及び献花台を設置し、献花を受け付けた。</p> <p>東日本大震災石巻市追悼式</p> <p>1 日時 令和3年3月11日（木） 午前8時30分～午後5時 ※本会場のみ午後2時40分～午後5時</p> <p>2 場所 マルホンまきあーとテラスほか市内6か所</p> <p>3 概要</p> <p>(1) 本会場をマルホンまきあーとテラスに変更し、追悼式典を開催した。</p> <p>(2) マルホンまきあーとテラスをはじめ、市内7か所に設けた各献花場に祭壇及び献花台を設置し、献花を受け付けた。</p> <p>(3) 石巻市民交響楽団による献奏を行った。</p> <p>(4) 国主催の追悼式典を本会場及び各献花場で放映した。</p> <p>(5) 石巻駅前から送迎バスを運行した。</p> <p>(6) 各会場において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に努めた。</p>																																		
成 果	<p>市主催の追悼式を開催することにより、震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げることができた。</p> <p>また、復興のシンボルの一つであるマルホンまきあーとテラスで式典を開催したことにより、本市が復興の完結に向け、着実に進んでいる姿を市内外に示すことができた。</p> <p>〈参列者数〉</p> <table border="1"> <tr> <td>追悼式</td> <td>マルホンまきあーとテラス</td> <td>548 人</td> </tr> <tr> <td>献花場</td> <td>河北総合センター</td> <td>122 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雄勝総合支所仮設庁舎</td> <td>122 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>遊楽館</td> <td>140 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>桃生総合支所</td> <td>116 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>北上総合支所</td> <td>169 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>牡鹿保健福祉センター</td> <td>161 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>1,378 人</td> </tr> </table> <p>送迎バス利用者</p> <table border="1"> <tr> <td>行き</td> <td>15 人</td> </tr> <tr> <td>帰り</td> <td>14 人</td> </tr> </table>							追悼式	マルホンまきあーとテラス	548 人	献花場	河北総合センター	122 人		雄勝総合支所仮設庁舎	122 人		遊楽館	140 人		桃生総合支所	116 人		北上総合支所	169 人		牡鹿保健福祉センター	161 人		計	1,378 人	行き	15 人	帰り	14 人
追悼式	マルホンまきあーとテラス	548 人																																	
献花場	河北総合センター	122 人																																	
	雄勝総合支所仮設庁舎	122 人																																	
	遊楽館	140 人																																	
	桃生総合支所	116 人																																	
	北上総合支所	169 人																																	
	牡鹿保健福祉センター	161 人																																	
	計	1,378 人																																	
行き	15 人																																		
帰り	14 人																																		
成果に係る評価	東日本大震災の犠牲となられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、復興の完結に向け、着実に歩みを進めてきた本市の姿を示すため、継続して本事業を実施していくこととしたい。 なお、令和4年度以降については、震災から11年が過ぎることや、全額一般財源となる見込みであることから、式典会場や実施規模等の見直しを検討する必要がある。																																		
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	12,085,000	12,079,269			12,079,269																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(2)	地域の力でみんなで守る
	26 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P161		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費			
事業コード	001-201-002-01404		事 業 名	地域活動サポート事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	復興公営住宅入居者とその周辺に住む地域住民との融和を図ることで、当該自治会が自立して、地域住民のニーズに合った魅力ある活動を継続して行える運営体制の構築のための支援を行う。						
取組実績	<p>広瀬町下自治会及び当該自治会区域内の広瀬復興公営住宅住民同士の融和支援を実施した。</p> <p>1 活動実績</p> <p>(1) 広瀬町下自治会に対するヒアリングによる現状把握 自治会事業説明、自治会サロン活動取材、各種打ち合わせ</p> <p>(2) 復興公営住宅に対するヒアリングによる現状把握 団地会長へ団地内の状況等ヒアリング、瓦版配布に関する周知等</p> <p>(3) 自治会と復興公営住宅入居者との融和 ア 両会会長の顔合わせ、広瀬町下自治会芋煮会運営サポート、芋煮会への復興公営住宅入居者の参加に向けた調整 イ 両会会長の意見交換</p> <p>(4) 復興公営住宅入居者とその周辺に住む地域住民とが魅力ある活動を継続して行えるよう自治会の運営体制の構築支援 地域内での意識醸成を目的とした広報紙（瓦版）の発行・配布、自治会サロンにおける映画上映会の実施</p>						
成 果	自治会及び復興公営住宅団地会の両会長との意見交換やヒアリングなどを実施し、融和に向けた情報共有を図った。 また、自治会主催の芋煮会をサポートし、復興公営住宅入居者の参加を募ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加者が少なかったことなどから、融和に向けた意識醸成が十分に図れなかった。						
成果に係る評価	両会の住民が参加するイベントの開催や、共通の情報媒体（瓦版）の配布を行ったことに加え、自治会の役員間で復興公営住宅入居者に加入してもらうことで認識を共有できたことなど、意識醸成は着実に図られている。 両会住民が参加可能なイベントやサロン活動の展開、瓦版の継続発行を行うなど、自治会への加入が促進されるよう継続した支援が必要である。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,483,000	1,482,800			1,482,800		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																																											
	3 項	戸籍住民基本台帳費		第3節	市民満足度の高い行政サービスを提供する		()																																											
	1 目	戸籍住民基本台帳費		(2)	行政サービスの質の向上を図る		()																																											
実施計画掲載ページ		P 17	中 事 業		窓口証明関係費																																													
事業コード		001-003-002-01217	事 業 名		窓口業務民間委託事業																																													
目的及び事業内容		市民課窓口業務の一部を専門知識を有する民間業者に委託することにより、窓口業務の効率化及び市民サービスの向上を図るとともに、職員及び会計年度任用職員を削減する。																																																
取組実績		石巻市市民課窓口業務民間委託事業 1 委託期間 令和元年8月1日～令和4年7月31日 2 委託料 148,130,192円。内、令和2年度 49,426,080円 3 委託業務内容 (1) 証明書発行窓口業務 (2) 印鑑登録業務 (3) 公用、郵送請求業務 (4) 住基異動入力処理業務 (5) マイナンバーカード業務 (6) フロア案内業務																																																
成 果		窓口業務の効率化及び市民サービスの向上が図られるとともに、職員及び会計年度任用職員を削減することができた。 1 委託業務数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>6業務</td> <td>6業務</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>6業務</td> <td>6業務</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> 2 職員の削減 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>-%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>3人</td> <td>4人</td> <td>133%</td> </tr> </tbody> </table> 3 会計年度任用職員（※R1は臨時職員等）の削減 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>12人</td> <td>15人</td> <td>125%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>20人</td> <td>15人</td> <td>75%</td> </tr> </tbody> </table> 2及び3については、H31.4.1と比較した累計。							区分	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R1	6業務	6業務	100%	R2	6業務	6業務	100%	区分	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R1	0人	2人	-%	R2	3人	4人	133%	区分	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R1	12人	15人	125%	R2	20人	15人	75%
区分	成果指標		達成率等																																															
	目標値	実績等																																																
R1	6業務	6業務	100%																																															
R2	6業務	6業務	100%																																															
区分	成果指標		達成率等																																															
	目標値	実績等																																																
R1	0人	2人	-%																																															
R2	3人	4人	133%																																															
区分	成果指標		達成率等																																															
	目標値	実績等																																																
R1	12人	15人	125%																																															
R2	20人	15人	75%																																															
成果に係る評価		民間委託により、年度末、年度開始及び人事異動等の繁忙期の業務の停滞が防げたほか、来庁者の待ち時間が短縮される等、業務の効率化が推進され、市民サービスの向上が図られた。また、職員及び会計年度任用職員数の減により人件費が削減できた。 なお、引き続き安定した市民サービスを提供するため、近年増大しているマイナンバー関連及びデジタル手続き法の施行に伴う業務等多様な窓口業務に対応できるように費用対効果の検証を行い、委託業務の質の向上に努める。																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
		49,427,000	49,426,080					49,426,080																																										